

III 区民女性を対象とした調査の基礎集計

1 本章の目的

本章では、区民女性を対象とした調査（「子育てしやすい環境の充実に向けた調査」）のデータを用いて、全ての設問の単純集計及び基本属性を軸とした各種クロス集計の結果（5%水準を基準（ $p < 0.05$ ）¹⁾に統計的有意性を検出した結果のみ）をみていく。

（節の構成）

- 2 基本属性の分布とクロス集計結果の概要
- 3 居住実態、最終学歴、雇用形態
- 4 結婚に関する実態と考え方
- 5 区の子育て関連支援制度やサービスに対する評価
- 6 子育ての実態
- 7 女性の就業、家族、子育てに係る価値観
- 8 生活と働き方
- 9 家計
- 10 転出入に係る意向
- 11 示唆される課題と対応の方向性

第2節で基本属性の分布とクロス集計結果の有意性一覧（概要）を示したのち、第3～10節で、各設問の単純集計及びクロス集計結果を示し、最終節では示唆される課題と対応の方向性を検討していく。

2 基本属性の分布とクロス集計結果の概要

（1）基本属性

30歳代と40歳代、芝浦港南地区在住、未婚で子どもと同居していない世帯と既婚で末子が6歳未満の世帯、世帯所得が第三・五分位（602～875万円）が多い

図表3-1は、年齢、居住地区、世帯類型、等価所得5分位²⁾（以下「世帯所得」という。）の単純集計の結果である。

「(イ) 年齢」については、「35-39歳」が23.82%と最大の値を示し、次いで「40-44歳」は20.85%、「45-50歳」³⁾は20.14%、「30-34歳」は17.89%、「20-29歳」は17.30%となっている。

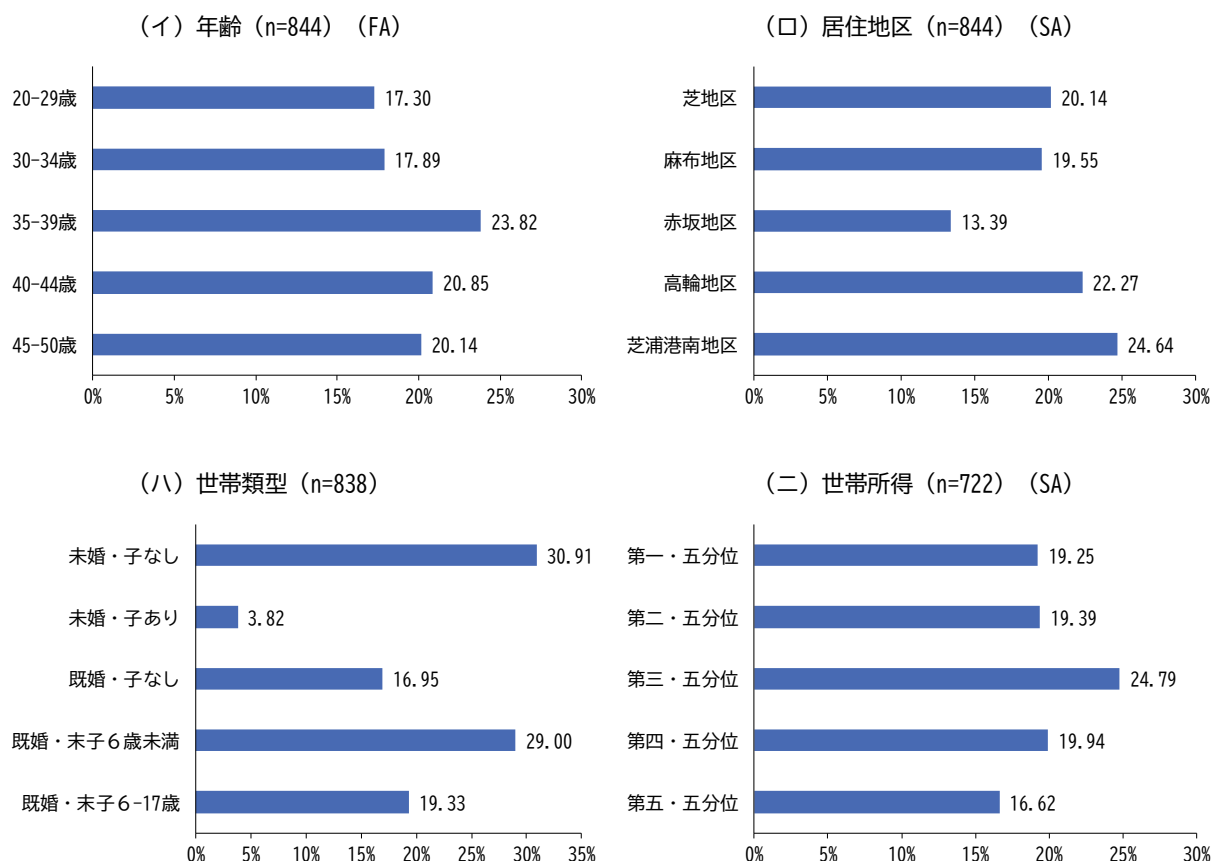
「(ロ) 居住地区」については、「芝浦港南地区」が24.64%と最大の値を示し、次いで「高輪地区」は22.27%、「芝地区」は20.14%、「麻布地区」は19.55%、「赤坂地区」は13.39%となっている。

- 1 χ^2 検定における5%水準を指す。 χ^2 検定においては、2つの要因間に「関連がない（独立である）」確率についての仮説を設定し、同確率が非常に稀である（5%未満）という結果が得られた場合に、2つの要因間に「関連がある」とみなしている（第IV章及び第V章も同様）
- 2 世帯所得は、世帯年収 $\div\sqrt{\text{世帯人数}}$ で算出した値を五分位化した変数である。五分位化とは、データを小さい順に並べ、五等分する操作である。ただし、同一値が存在する場合は、等分とならないことがある。
- 3 本調査の対象は20～49歳の区民女性であるが、調査対象者抽出後から調査回答時まで誕生日を迎えた人がいるため、50歳の区民女性が含まれている。

「(ハ) 世帯類型」については、「未婚・子なし」が30.91%と最大の値を示し、次いで「既婚・末子6歳未満」が29.00%、「既婚・末子6-17歳」が19.33%、「既婚・子なし」は16.95%、「未婚・子あり」は3.82%となっている。

「(ニ) 世帯所得」については、「第三・五分位」(602～875万円)が24.79%と最大の値を示し、次いで「第四・五分位」(876～1250万円)は19.94%、「第二・五分位」(390～601万円)は19.39%、「第一・五分位」(0～389万円)は19.25%、「第五・五分位」(1251万円以上)は16.62%となっている。

図表 3-1 基本属性の単純集計



注：子どもの有無は、同居している子どもの有無。

注：第一・五分位：0～389万円、第二・五分位：390～601万円、第三・五分位：602～875万円、第四・五分位：876～1250万円、第五・五分位：1251万円以上。

(2) クロス集計結果の概要

年齢と世帯類型において、多くの項目で有意な差がみられた

第3節以降における回答者の基本属性を軸にしたクロス集計の結果の概要は、図表3-2のとおりである。本図表では、第11節の示唆される課題と対応の方向性と関連のある項目に係るクロス集計結果を示している。

図表内の「○」の印は、5%水準 ($p < 0.05$) で統計的に有意な差が示された項目を示している。例えば、表左上の「年齢」と「雇用形態(本人)」が交差するセルに「○」が付されているのは、「年齢」によって本人の雇用形態に有意な差があることを示している。

全体傾向では、年齢と世帯類型において、多くの項目で有意な差がみられた。
なお、クロス集計結果の一覧は、本章末尾の資料アを参照されたい。

図表 3-2 回答者の基本属性を軸にしたクロス集計の結果の概要

節タイトル	居住実態、最終学歴、雇用形態		区の子育て関連支援制度やサービスに対する評価							
設問概要	雇用形態		一層充実してほしい子育て支援関連サービスや助成制度							
	本人	配偶者	乳幼児一時預かり事業・みなと保育サポート事業(スポット利用)	派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび(ファミリー・サポート・センター事業)	乳幼児等シヨートステイ事業	トワイライトステイ事業	子育てひろば事業(乳幼児とその保護者が対象)	保育園であそぼう	子育てコーディネート事業	出産・子育て応援メール配信
年齢	○		○	○				○		
居住地区	○	○							○	○
世帯類型	○		○	○	○	○			○	○
等価所得 5 分位 (世帯所得)	○	○								
節タイトル	区の子育て関連支援制度やサービスに対する評価									
設問概要	一層充実してほしい子育て支援関連サービスや助成制度									
	みなと母子手帳アプリ	産後宿泊型シヨートステイ	産後母子ケア・アイサービス・乳房ケア事業	産前産後家事・育児支援事業	児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館(小学生以上が対象)	出産費用助成	コミュニティバス乗車券の発行	港区子育て応援商品券の配付	その他	特にない
年齢	○	○	○	○		○		○		○
居住地区								○		
世帯類型	○	○	○	○	○	○	○	○		○
等価所得 5 分位 (世帯所得)					○		○	○		
節タイトル	区の子育て関連支援制度やサービスに対する評価						女性の就業、家族、子育てに係る価値観			
設問概要	一層充実してほしい子育て支援関連サービスや助成制度						理想の人生	現実の人生	理想と現実の人生のギャップ	
	教育・子育てに係る経費への助成	相談先・子育てのネットワークの充実	所得制限のない助成	病児・病後児保育の充実	公共交通機関の利用に係る助成	不妊治療への助成				
年齢										
居住地区							○	○		
世帯類型	○						○	○	○	
等価所得 5 分位 (世帯所得)							○	○	○	
節タイトル	女性の就業、家族、子育てに係る価値観									
設問概要	女性の就業や家族等に係る価値観									
	結婚しても結婚相手や家族とは別の自分の人生の目標を持つべきである	結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を犠牲にするのは当然だ	夫に十分な収入がある場合には、妻は収入を伴う仕事をしない方がいい	結婚したら子どもを持つべきである	子どもが小さいうちは母親は仕事を持たずに家にいることが望ましい	生涯を独身で過ごすというの望ましい生き方ではない	女性が最初の子どもの産むなら20代のうちが良い	(生物学的)男性同士、女性同士の結婚があっても構わない	女性同士のカップルも、男女のカップルと同じように子どもを育てることができる	男性同士のカップルも、男女のカップルと同じように子どもを育てることができる
年齢							○	○	○	○
居住地区		○								
世帯類型		○		○				○		○
等価所得 5 分位 (世帯所得)										
節タイトル	女性の就業、家族、子育てに係る価値観					生活と働き方				
設問概要	女性の就業や家族等に係る価値観					生活時間				
	両親のどちらかがいなくても、両親のいる家庭と同じように子どもを育てることができる	年老いた親の世話に対する成長した子どもの責任は大きい	理想子ども数	予定子ども数	理想と予定の子どもの差	仕事(収入を伴うもの)に費やす時間(通勤時間を除く)(本人)	通勤時間に費やす時間(本人)	睡眠に費やす時間(本人)	家事(食事の準備・片付け、掃除、洗濯等)に費やす時間(本人)	子育て(授乳、食事、沐浴、保育園や学校等の送迎、見守り、遊び等、お子さんと一緒に過ごす時間)に費やす時間(睡眠時間を除く)(本人)
年齢						○		○	○	○
居住地区									○	○
世帯類型			○	○	○	○	○	○	○	○
等価所得 5 分位 (世帯所得)				○						

節タイトル	生活と働き方									
設問概要	生活時間									
	ご家族(ご自身、ご自身の親、ご自身の兄弟姉妹、配偶者の親、ご自身の子等)の介護、看護、通院に費やす時間	趣味・娯楽に費やす時間(本人)	仕事(収入を伴うもの)に費やす時間(通勤時間を除く)(配偶者)	通勤時間に費やす時間(配偶者)	睡眠に費やす時間(配偶者)	家事(食事の準備・片付け、掃除、洗濯等)に費やす時間(配偶者)	子育て(授乳、食事、沐浴、保育園や学校等の送迎、見守り、遊び等、お子さんと一緒に過ごす時間)に費やす時間(睡眠時間を除く)(配偶者)	ご家族(ご自身、ご自身の兄弟姉妹、配偶者の親、ご自身の子等)の介護、看護、通院に費やす時間(配偶者)	趣味・娯楽に費やす時間(配偶者)	ご家庭が民間の家事代行サービスを利用している時間(区からの委託事業で利用している時間も含む)
年齢	○						○		○	
居住地区										
世帯類型	○				○	○	○		○	○
等価所得 5 分位（世帯所得）			○				○			○
節タイトル	生活と働き方									
設問概要	各種満足度									
	仕事(収入を伴うもの)	結婚生活(配偶者との関係)	あなたの子どものとの関係	健康状態	余暇の過ごし方	現在の家計状態	港区の出産から就学前までの子育てのしやすさ※現在該当年齢の子どものいない回答者も回答	港区の小・中学生の教育・育成環境※現在該当年齢の子どものいない回答者も回答	港区の防災、防犯	港区の公共交通機関や公共施設、買い物店舗の利用しやすさ
年齢		○			○		○	○		
居住地区							○			○
世帯類型		○		○	○	○	○	○	○	
等価所得 5 分位（世帯所得）	○	○		○	○	○	○			○
節タイトル	転出入に係る意向									
設問概要	各種満足度		港区を居住地に選択した理由							
	生活全般	港区転入のきっかけ	子どもを産み、育てる環境	就労への利便性	公共交通機関や買い物環境の利便性	防災や治安等	まちの景観・街並み	親族や友人等の人間関係	公園や区の施設(スポーツ施設や区民センター等)	高齢者・障害者向けの福祉環境
年齢		○	○							
居住地区			○							
世帯類型	○	○	○						○	
等価所得 5 分位（世帯所得）	○	○			○	○	○		○	
節タイトル	転出入に係る意向									
設問概要	港区を居住地に選択した理由									
	その他	資産価値	行政サービスの充実	定住意向						
年齢				○						
居住地区										
世帯類型	○			○						
等価所得 5 分位（世帯所得）	○			○						

3 居住実態、最終学歴、雇用形態

(1) 港区における居住年数

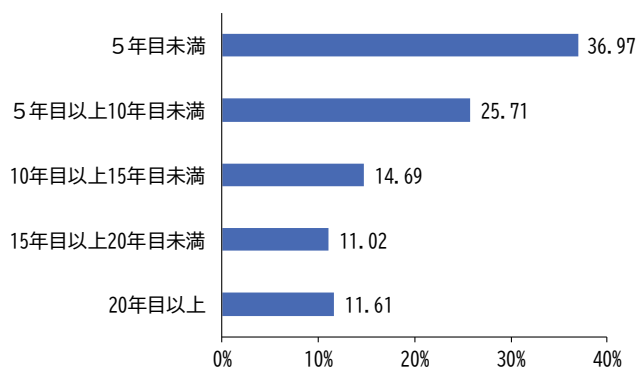
■単純集計

「5年目未満」が約4割

図表3-3は、港区における居住年数の単純集計の結果である。

「5年目未満」が36.97%と最大の値を示し、次いで「5年目以上10年目未満」は25.71%、「10年目以上15年目未満」は14.69%、「20年目以上」は11.61%、「15年目以上20年目未満」は11.02%となっている。

図表 3-3 港区における居住年数 (n=844) (SA)



■クロス集計

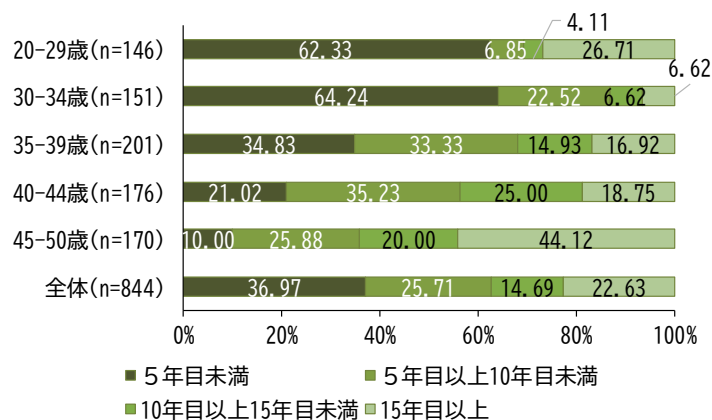
ア 年齢

20歳代及び30歳代前半では5年未満の割合が6割以上であるのに対し、30歳代後半以降は5年以上の割合が6割以上

図表 3-4 は、年齢と港区における居住年数のクロス集計の結果である。

「5年未満」をみると、「30-34歳」が64.24%と最大の値を示し、次いで「20-29歳」は62.33%、「35-39歳」は34.83%、「40-44歳」は21.02%、「45-50歳」は10.00%となっている。

図表 3-4 年齢別港区における居住年数



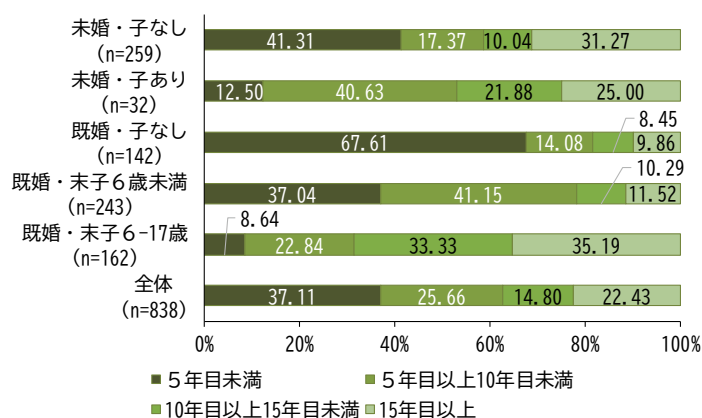
イ 世帯類型

子どもと同居していない世帯は、居住年数が短い割合が高い

図表 3-5 は、世帯類型と港区における居住年数のクロス集計の結果である。

「5年未満」をみると、「既婚・子なし」が67.61%と最大の値を示し、次いで「未婚・子なし」は41.31%、「既婚・末子6歳未満」は37.04%、「未婚・子あり」は12.50%、「既婚・末子6-17歳」は8.64%となっている。

図表 3-5 世帯類型別港区における居住年数



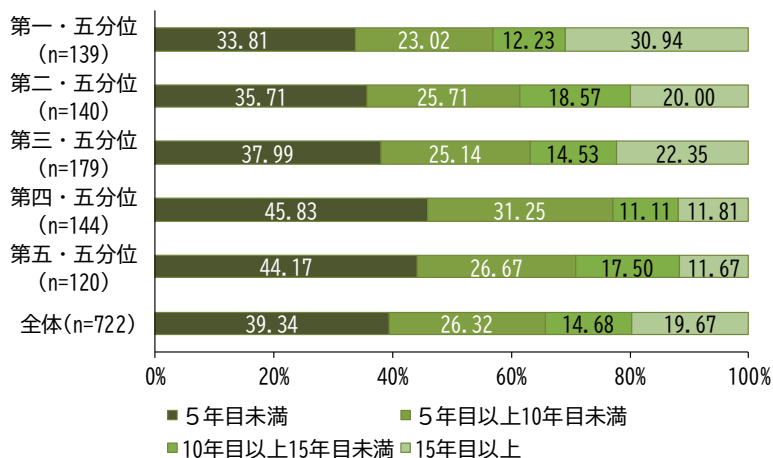
ウ 世帯所得

所得が高い世帯で、居住年数が短い割合が高い

図表 3-6 は、世帯所得と港区における居住年数のクロス集計の結果である。

「5年未満」をみると、「第四・五分位」が45.83%と最大の値を示し、次いで「第五・五分位」は44.17%、「第三・五分位」は37.99%、「第二・五分位」は35.71%、「第一・五分位」は33.81%となっている。

図表 3-6 世帯所得別港区における居住年数



(2) 世帯人数

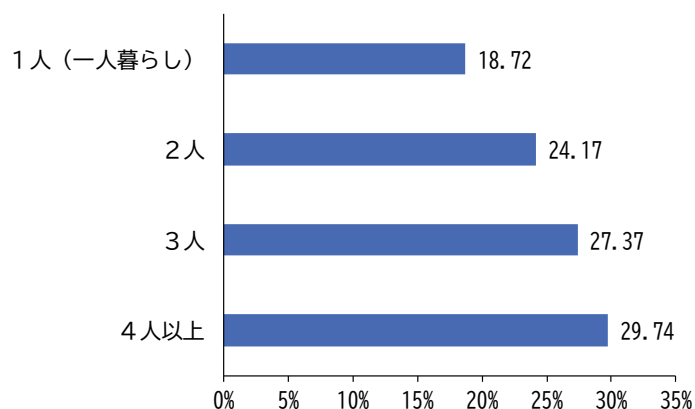
■単純集計

世帯人数が「4人以上」の世帯が約3割

図表 3-7 は、世帯人数の単純集計の結果である。

「4人以上」の世帯が29.74%と最大の値を示し、次いで「3人」は27.37%、「2人」は24.17%、「1人（一人暮らし）」は18.72%となっている。

図表 3-7 世帯人数 (n=844) (SA)



■クロス集計

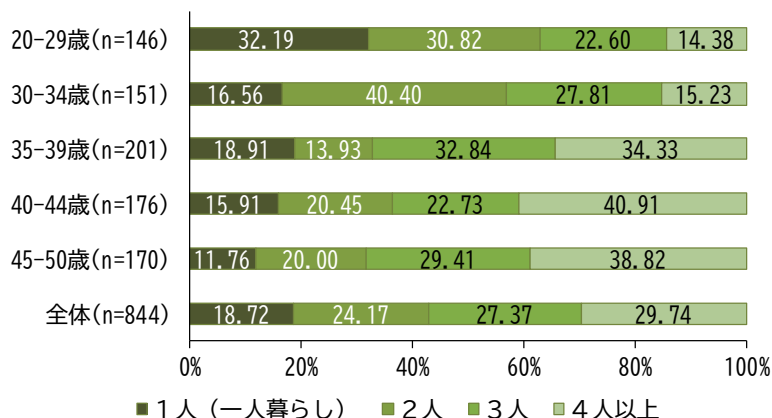
ア 年齢

30 歳代後半以降で「3人」及び「4人以上」の割合が高い

図表 3-8 は、年齢と世帯人数のクロス集計の結果である。

「4人以上」をみると、「40-44 歳」が 40.91%と最大の値を示し、次いで「45-50 歳」は 38.82%、「35-39 歳」は 34.33%、「30-34 歳」は 15.23%、「20-29 歳」は 14.38%となっている。

図表 3-8 年齢別世帯人数



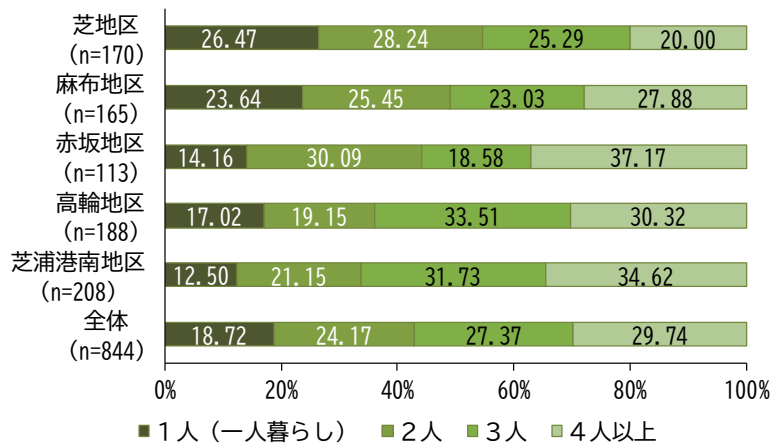
イ 居住地区

赤坂地区と芝浦港南地区は、「4人以上」の割合が高い

図表 3-9 は、居住地区と世帯人数のクロス集計の結果である。

「4人以上」をみると、「赤坂地区」が 37.17%と最大の値を示し、次いで「芝浦港南地区」は 34.62%、「高輪地区」は 30.32%、「麻布地区」は 27.88%、「芝地区」は 20.00%となっている。

図表 3-9 居住地区別世帯人数



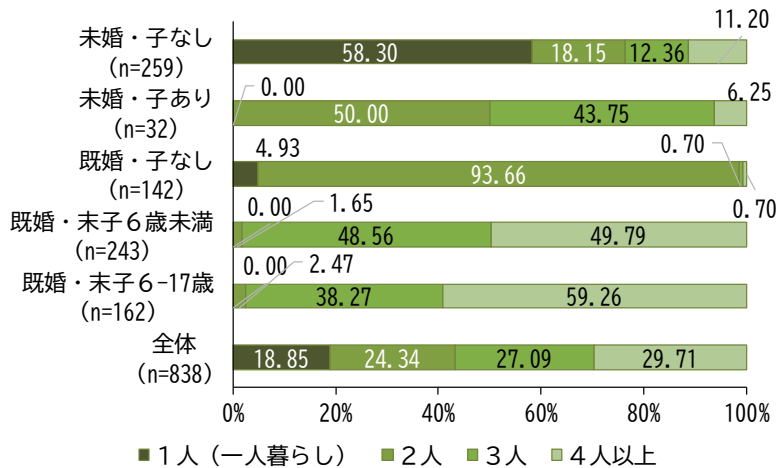
ウ 世帯類型

既婚で子どもと同居している世帯は、「4人以上」の割合が高い

図表 3-10 は、世帯類型と世帯人数のクロス集計の結果である。

「4人以上」をみると、「既婚・末子 6-17 歳」が 59.26%と最大の値を示し、次いで「既婚・末子 6 歳未満」は 49.79%、「未婚・子なし」は 11.20%、「未婚・子あり」は 6.25%、「既婚・子なし」は 0.70%となっている。

図表 3-10 世帯類型別世帯人数



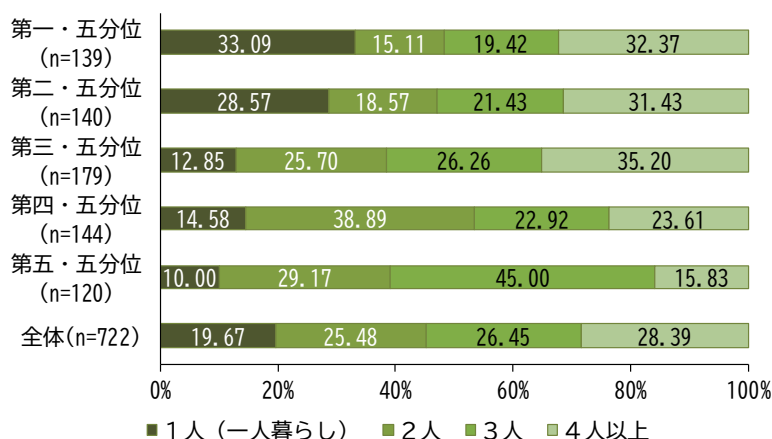
エ 世帯所得

「第一・五分位」から「第三・五分位」で世帯人数が「4人以上」の世帯は、3割強

図表 3-11 は、世帯所得と世帯人数のクロス集計の結果である。

「4人以上」をみると、「第三・五分位」が 35.20%と最大の値を示し、次いで「第一・五分位」は 32.37%、「第二・五分位」は 31.43%、「第四・五分位」は 23.61%、「第五・五分位」は 15.83%となっている。

図表 3-11 世帯所得別世帯人数



(3) 世帯類型

■クロス集計

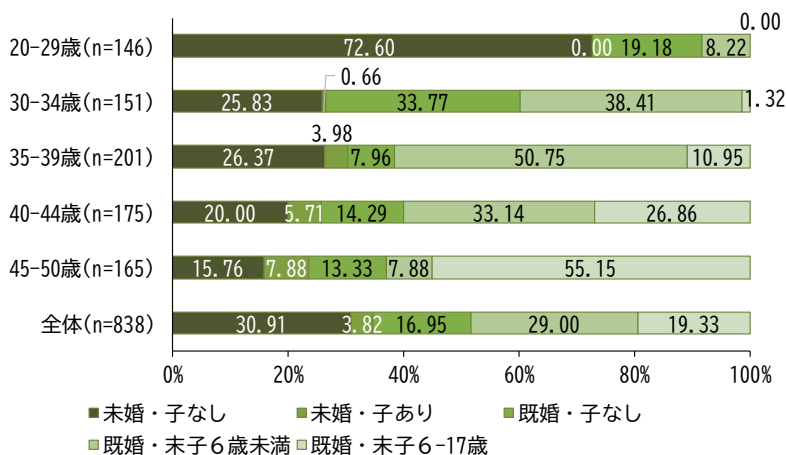
ア 年齢

年齢が高いほど、未婚で子どもと同居していない人の割合が低い

図表 3-12 は、年齢と世帯類型のクロス集計の結果である。

「未婚・子なし」をみると、「20-29 歳」が 72.60%と最大の値を示し、次いで「35-39 歳」は 26.37%、「30-34 歳」は 25.83%、「40-44 歳」は 20.00%、「45-50 歳」は 15.76%となっている。

図表 3-12 年齢別世帯類型



イ 居住地区

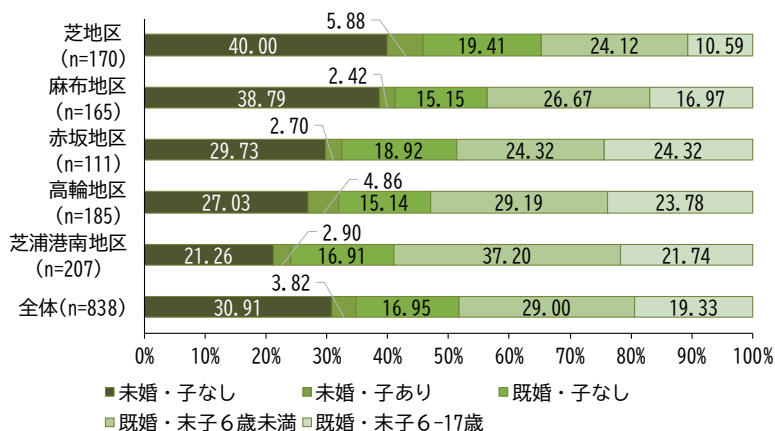
芝地区は、未婚で子どもと同居していない人の割合が高い

図表 3-13 は、居住地区と世帯類型のクロス集計の結果である。

「未婚・子なし」をみると、「芝地区」が 40.00%と最大の値を示し、次いで「麻布地区」は

38.79%、「赤坂地区」は29.73%、「高輪地区」は27.03%、「芝浦港南地区」は21.26%となっている。

図表 3-13 居住地区別世帯類型



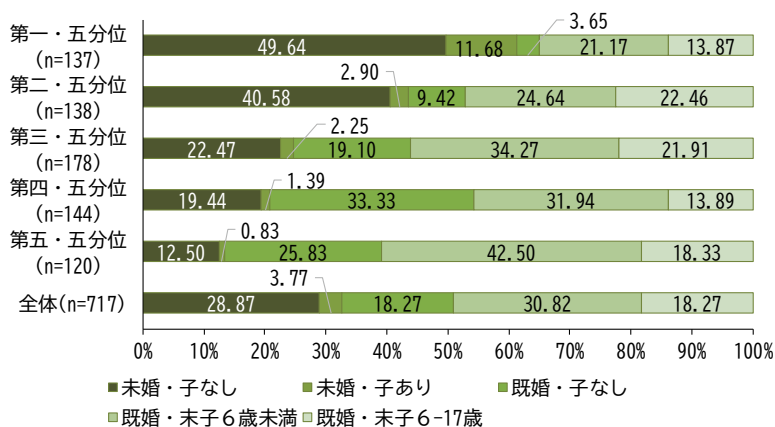
ウ 世帯所得

所得が高いほど、未婚で子どもと同居していない人の割合が低く、既婚で末子が6歳未満の割合が高い

図表 3-14 は、世帯所得と世帯類型のクロス集計の結果である。

「未婚・子なし」をみると、「第一・五分位」が49.64%と最大の値を示し、次いで「第二・五分位」は40.58%、「第三・五分位」は22.47%、「第四・五分位」は19.44%、「第五・五分位」は12.50%となっている。

図表 3-14 世帯所得別世帯類型



(4) 同居者の続柄

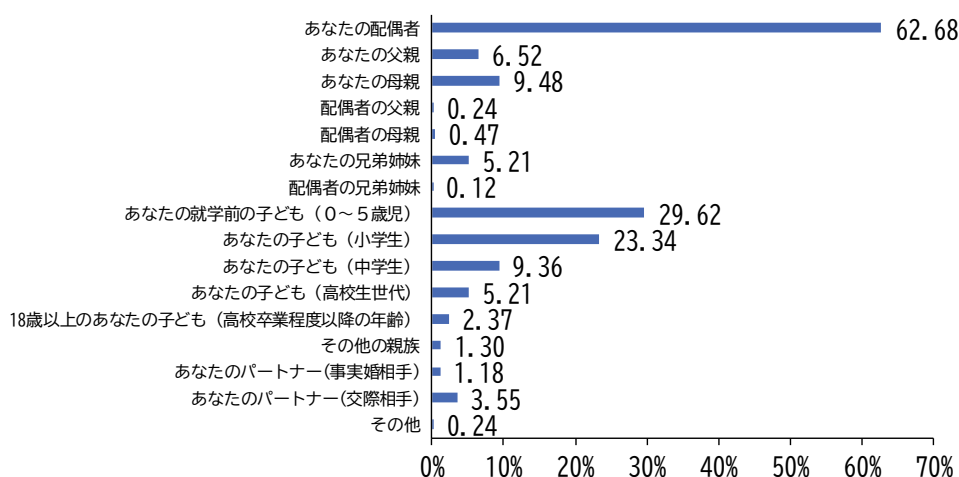
■単純集計

配偶者と同居している割合が約6割、就学前の子どもと同居している割合が約3割

図表3-15は、同居者の続柄の単純集計の結果である。

「あなたの配偶者」との同居割合が62.68%と最大の値を示し、次いで「あなたの就学前の子ども（0～5歳児）」は29.62%、あなたの子ども（小学生）は23.34%となっている。

図表3-15 同居者の続柄（n=844）（MA）



■クロス集計

ア 年齢

- ・「あなたの配偶者」「あなたの父親」「あなたの母親」「あなたの兄弟姉妹」「あなたの就学前の子ども（0～5歳児）」「あなたの子ども（小学生）」「あなたの子ども（中学生）」「あなたの子ども（高校生世代）」「18歳以上のあなたの子ども（高校卒業程度以降の年齢）」「あなたのパートナー（交際相手）」で有意な差がみられた
- ・20歳代は自身の父親、母親、兄弟姉妹と同居している割合が高く、30～40歳代は自身の子どもと同居している割合が高い

図表3-16は、年齢と同居者の続柄のクロス集計の結果であり、「あなたの配偶者」「あなたの父親」「あなたの母親」「あなたの兄弟姉妹」「あなたの就学前の子ども（0～5歳児）」「あなたの子ども（小学生）」「あなたの子ども（中学生）」「あなたの子ども（高校生世代）」「18歳以上のあなたの子ども（高校卒業程度以降の年齢）」「あなたのパートナー（交際相手）」で有意な差が示されている。

「あなたの配偶者」との同居割合については、「45-50歳」が72.94%と最大の値を示し、次いで「30-34歳」は71.52%、「40-44歳」は70.45%、「35-39歳」は67.16%、「20-29歳」は26.03%となっている。

「あなたの父親」との同居割合については、「20-29歳」が23.97%と最大の値を示し、次いで「35-39歳」は5.47%、「40-44歳」は2.84%、「30-34歳」は1.99%、「45-50歳」は0.59%となっている。

「あなたの母親」との同居割合については、「20-29歳」が28.77%と最大の値を示し、次いで「35-39歳」は6.97%、「30-34歳」は5.30%、「40-44歳」は5.11%、「45-50歳」は4.12%となっている。

「あなたの兄弟姉妹」との同居割合については、「20-29 歳」が 17.12%と最大の値を示し、次いで「30-34 歳」は 3.31%、「35-39 歳」は 2.99%、「45-50 歳」は 2.35%、「40-44 歳」は 2.27%となっている。

「あなたの就学前の子ども（0～5 歳児）」との同居割合については、「35-39 歳」が 52.24%と最大の値を示し、次いで「30-34 歳」は 38.41%、「40-44 歳」は 34.09%、「45-50 歳」は 8.82%、「20-29 歳」は 8.22%となっている。

「あなたの子ども（小学生）」との同居割合については、「45-50 歳」が 39.41%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 38.07%、「35-39 歳」は 28.36%、「30-34 歳」は 3.97%、「20-29 歳」は 0%となっている。

「あなたの子ども（中学生）」との同居割合については、「45-50 歳」が 27.65%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 14.20%、「35-39 歳」は 3.48%、「20-29 歳」と「30-34 歳」は 0%となっている。

「あなたの子ども（高校生世代）」との同居割合については、「45-50 歳」が 21.18%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 4.55%、「20-29 歳」「30-34 歳」「35-39 歳」は 0%となっている。

「18 歳以上のあなたの子ども（高校卒業程度以降の年齢）」との同居割合については、「45-50 歳」が 10.59%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 1.14%、「20-29 歳」「30-34 歳」「35-39 歳」は 0%となっている。

「あなたのパートナー（交際相手）」との同居割合については、「20-29 歳」が 9.59%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 3.41%、「30-34 歳」は 3.31%、「35-39 歳」は 1.49%、「45-50 歳」は 1.18%となっている。

図表 3-16 年齢別同居者の続柄（%）

	あなたの配偶者	あなたの父親	あなたの母親	配偶者の父親	配偶者の母親	あなたの兄弟姉妹	配偶者の兄弟姉妹	あなたの就学前の子ども（0～5 歳児）
20-29 歳(n=146)	26.03	23.97	28.77	0.00	0.68	17.12	0.00	8.22
30-34 歳(n=151)	71.52	1.99	5.30	0.66	0.66	3.31	0.00	38.41
35-39 歳(n=201)	67.16	5.47	6.97	0.00	0.00	2.99	0.00	52.24
40-44 歳(n=176)	70.45	2.84	5.11	0.00	0.57	2.27	0.00	34.09
45-50 歳(n=170)	72.94	0.59	4.12	0.59	0.59	2.35	0.59	8.82
全体(n=844)	62.68	6.52	9.48	0.24	0.47	5.21	0.12	29.62
	あなたの子ども（小学生）	あなたの子ども（中学生）	あなたの子ども（高校生世代）	18 歳以上のあなたの子ども（高校卒業程度以降の年齢）	その他の親族	あなたのパートナー（事実婚相手）	あなたのパートナー（交際相手）	その他
20-29 歳(n=146)	0.00	0.00	0.00	0.00	3.42	0.68	9.59	0.68
30-34 歳(n=151)	3.97	0.00	0.00	0.00	0.66	2.65	3.31	0.00
35-39 歳(n=201)	28.36	3.48	0.00	0.00	0.50	1.00	1.49	0.00
40-44 歳(n=176)	38.07	14.20	4.55	1.14	1.70	0.57	3.41	0.57
45-50 歳(n=170)	39.41	27.65	21.18	10.59	0.59	1.18	1.18	0.00
全体(n=844)	23.34	9.36	5.21	2.37	1.30	1.18	3.55	0.24

注：下線部は 5%水準の有意確率(p.<0.05)。

イ 居住地区

- ・「あなたの配偶者」「あなたの就学前の子ども（0～5 歳児）」「あなたの子ども（中学生）」「あなたの子ども（高校生世代）」「あなたのパートナー（交際相手）」で有意な差がみられた
- ・芝浦港南地区は、配偶者、就学前の子ども、高校生世代の子どもと同居している割合が高い

図表 3-17 は、居住地区と同居者の続柄のクロス集計の結果であり、「あなたの配偶者」「あなた

の就学前の子ども（0～5歳児）」「あなたの子ども（中学生）」「あなたの子ども（高校生世代）」「あなたのパートナー（交際相手）」で有意な差が示されている。

「あなたの配偶者」との同居割合については、「芝浦港南地区」が73.56%と最大の値を示し、次いで「高輪地区」は66.49%、「赤坂地区」は66.37%、「麻布地区」は55.76%、「芝地区」は49.41%となっている。

「あなたの就学前の子ども（0～5歳児）」との同居割合については、「芝浦港南地区」が37.50%と最大の値を示し、次いで「高輪地区」は30.32%、「麻布地区」は27.88%、「赤坂地区」は24.78%、「芝地区」は24.12%となっている。

「あなたの子ども（中学生）」との同居割合については、「赤坂地区」が17.70%と最大の値を示し、次いで「麻布地区」は10.64%、「芝浦港南地区」は10.10%、「麻布地区」は6.06%、「芝地区」は4.71%となっている。

「あなたの子ども（高校生世代）」との同居割合については、「芝浦港南地区」が8.65%と最大の値を示し、次いで「赤坂地区」は6.19%、「高輪地区」は5.32%、「麻布地区」は3.64%、「芝地区」は1.76%となっている。

「あなたのパートナー（交際相手）」との同居割合については、「赤坂地区」が7.08%と最大の値を示し、次いで「麻布地区」は6.06%、「芝浦港南地区」は2.40%、「芝地区」は2.35%、「高輪地区」は1.60%となっている。

図表 3-17 居住地区別同居者の続柄（%）

	あなたの配偶者	あなたの父親	あなたの母親	配偶者の父親	配偶者の母親	あなたの兄弟姉妹	配偶者の兄弟姉妹	あなたの就学前の子ども（0～5歳児）
芝地区(n=170)	49.41	10.00	12.35	0.00	0.00	4.12	0.00	24.12
麻布地区(n=165)	55.76	6.67	9.70	1.21	1.21	6.06	0.61	27.88
赤坂地区(n=113)	66.37	3.54	7.96	0.00	1.77	6.19	0.00	24.78
高輪地区(n=188)	66.49	5.85	9.57	0.00	0.00	6.38	0.00	30.32
芝浦港南地区(n=208)	73.56	5.77	7.69	0.00	0.00	3.85	0.00	37.50
全体(n=844)	62.68	6.52	9.48	0.24	0.47	5.21	0.12	29.62
	あなたの子ども（小学生）	あなたの子ども（中学生）	あなたの子ども（高校生世代）	18歳以上のあなたの子ども（高校卒業程度以降の年齢）	その他の親族	あなたのパートナー（事実婚相手）	あなたのパートナー（交際相手）	その他
芝地区(n=170)	16.47	4.71	1.76	1.18	1.76	2.35	2.35	0.00
麻布地区(n=165)	23.64	6.06	3.64	1.82	1.82	1.82	6.06	0.61
赤坂地区(n=113)	24.78	17.70	6.19	3.54	0.88	1.77	7.08	0.88
高輪地区(n=188)	26.06	10.64	5.32	3.19	2.13	0.00	1.60	0.00
芝浦港南地区(n=208)	25.48	10.10	8.65	2.40	0.00	0.48	2.40	0.00
全体(n=844)	23.34	9.36	5.21	2.37	1.30	1.18	3.55	0.24

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

ウ 世帯類型

- ・「あなたの配偶者」「あなたの父親」「あなたの母親」「あなたの兄弟姉妹」「あなたの就学前の子ども（0～5歳児）」「あなたの子ども（小学生）」「あなたの子ども（中学生）」「あなたの子ども（高校生世代）」「18歳以上のあなたの子ども（高校卒業程度以降の年齢）」「その他の親族」「あなたのパートナー（交際相手）」で有意な差がみられた
- ・未婚で子どもと同居していない人は、自身の父親、母親、兄弟姉妹と同居している割合が高い

図表3-18は、世帯類型と同居者の続柄のクロス集計の結果であり、「あなたの配偶者」「あなたの父親」「あなたの母親」「あなたの兄弟姉妹」「あなたの就学前の子ども（0～5歳児）」「あなたの子ども（小学生）」「あなたの子ども（中学生）」「あなたの子ども（高校生世代）」「18歳以上のあなたの子ども（高校卒業程度以降の年齢）」「その他の親族」「あなたのパートナー（交際相手）」で有意な差が示されている。

「あなたの配偶者」との同居割合については、「既婚・末子6歳未満」が97.53%と最大の値を示し、次いで「既婚・末子6-17歳」は95.68%、「既婚・子あり」は91.55%、「未婚・子あり」は3.13%、「未婚・子なし」は0%となっている。

「あなたの父親」との同居割合については、「未婚・子なし」が18.92%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は3.13%、「既婚・末子6歳未満」は1.65%、「既婚・末子6-17歳」は0.62%、「既婚・子なし」は0%となっている。

「あなたの母親」との同居割合については、「未婚・子なし」が25.48%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は9.38%、「既婚・末子6歳未満」は3.29%、「既婚・末子6-17歳」は1.85%、「既婚・子なし」は0%となっている。

「あなたの兄弟姉妹」との同居割合については、「未婚・子なし」が15.83%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は3.13%、「既婚・末子6歳未満」は0.82%、「既婚・子なし」と「既婚・末子6-17歳」は0%となっている。

「あなたの就学前の子ども（0～5歳児）」との同居割合については、「既婚・末子6歳未満」が100.00%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は21.88%、その他の世帯は0%となっている。

「あなたの子ども（小学生）」との同居割合については、「既婚・末子6-17歳」が74.69%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は46.88%、「既婚・末子6歳未満」は25.10%、「未婚・子なし」と「既婚・子なし」は0%となっている。

「あなたの子ども（中学生）」との同居割合については、「既婚・末子6-17歳」が37.04%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は34.38%、「既婚・末子6歳未満」は3.29%、「未婚・子なし」と「既婚・子なし」は0%となっている。

「あなたの子ども（高校生世代）」との同居割合については、「既婚・末子6-17歳」が22.84%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は15.63%、「既婚・末子6歳未満」は0.82%、「未婚・子なし」と「既婚・子なし」は0%となっている。

「18歳以上のあなたの子ども（高校卒業程度以降の年齢）」との同居割合については、「既婚・末子6-17歳」が8.02%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は3.13%、その他の世帯は0%となっている。

「その他の親族」との同居割合については、「未婚・子あり」が3.13%と最大の値を示し、次いで「未婚・子なし」は3.09%、「既婚・末子6-17歳」は1.23%、「既婚・子なし」と「既婚・末子6歳未満」は0%となっている。

「あなたのパートナー（交際相手）」との同居割合については、「未婚・子なし」が10.42%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は3.13%、「既婚・子なし」は1.41%、「既婚・末子6歳未満」と「既婚・末子6-17歳」は0%となっている。

図表 3-18 世帯類型別同居者の続柄（％）

	あなたの配偶者	あなたの父親	あなたの母親	配偶者の父親	配偶者の母親	あなたの兄弟姉妹	配偶者の兄弟姉妹	あなたの就学前の子ども（0～5歳児）
未婚・子なし(n=259)	0.00	18.92	25.48	0.00	0.39	15.83	0.00	0.00
未婚・子あり(n=32)	3.13	3.13	9.38	0.00	0.00	3.13	0.00	21.88
既婚・子なし(n=142)	91.55	0.00	0.00	0.70	0.70	0.00	0.00	0.00
既婚・未子6歳未満(n=243)	97.53	1.65	3.29	0.00	0.00	0.82	0.00	100.00
既婚・未子6～17歳(n=162)	95.68	0.62	1.85	0.62	1.23	0.00	0.62	0.00
全体(n=838)	62.41	6.56	9.55	0.24	0.48	5.25	0.12	29.83
	あなたの子ども（小学生）	あなたの子ども（中学生）	あなたの子ども（高校生世代）	18歳以上のあなたの子ども（高校卒業程度以降の年齢）	その他の親族	あなたのパートナー（事実婚相手）	あなたのパートナー（交際相手）	その他
未婚・子なし(n=259)	0.00	0.00	0.00	0.00	3.09	1.93	10.42	0.77
未婚・子あり(n=32)	46.88	34.38	15.63	3.13	3.13	0.00	3.13	0.00
既婚・子なし(n=142)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.82	1.41	0.00
既婚・未子6歳未満(n=243)	25.10	3.29	0.82	0.00	0.00	0.41	0.00	0.00
既婚・未子6～17歳(n=162)	74.69	37.04	22.84	8.02	1.23	0.00	0.00	0.00
全体(n=838)	23.51	9.43	5.25	1.67	1.31	1.19	3.58	0.24

注：下線部は5％水準の有意確率(p, <0.05)。

エ 世帯所得

- ・「あなたの配偶者」「あなたの父親」「あなたの母親」「あなたの兄弟姉妹」「あなたの就学前の子ども（0～5歳児）」「18歳以上のあなたの子ども（高校卒業程度以降の年齢）」で有意な差がみられた
- ・所得が低い人は、自身の父親、母親、兄弟姉妹と同居している割合が高い

図表 3-19 は、世帯所得と同居者の続柄のクロス集計の結果であり、「あなたの配偶者」「あなたの父親」「あなたの母親」「あなたの兄弟姉妹」「あなたの就学前の子ども（0～5歳児）」「18歳以上のあなたの子ども（高校卒業程度以降の年齢）」で有意な差が示されている。

「あなたの配偶者」との同居割合については、「第五・五分位」が82.50％と最大の値を示し、次いで「第四・五分位」は76.39％、「第三・五分位」73.18％、「第二・五分位」は55.00％、「第一・五分位」は37.41％となっている。

「あなたの父親」との同居割合については、「第一・五分位」が9.35％と最大の値を示し、次いで「第二・五分位」は5.71％、「第三・五分位」は4.47％、「第五・五分位」は0.83％、「第四・五分位」は0.69％となっている。

「あなたの母親」との同居割合については、「第一・五分位」が15.83％と最大の値を示し、次いで「第三・五分位」は6.15％、「第二・五分位」は5.71％、「第五・五分位」は2.50％、「第四・五分位」は1.39％となっている。

「あなたの兄弟姉妹」との同居割合については、「第一・五分位」が9.35％と最大の値を示し、次いで「第二・五分位」は3.57％、「第三・五分位」は2.23％、「第四・五分位」は1.39％、「第五・五分位」は0％となっている。

「あなたの就学前の子ども（0～5歳児）」との同居割合については、「第五・五分位」が43.33％と最大の値を示し、次いで「第三・五分位」は34.64％、「第四・五分位」は31.94％、「第二・五分位」は24.29％、「第一・五分位」は23.02％となっている。

「18歳以上のあなたの子ども（高校卒業程度以降の年齢）」との同居割合については、「第二・五分位」が5.00%と最大の値を示し、次いで「第一・五分位」は3.60%、「第三・五分位」は1.68%、「第四・五分位」は0.69%、「第五・五分位」は0%となっている。

図表 3-19 世帯所得別同居者の続柄（%）

	あなたの 配偶者	あなたの 父親	あなたの 母親	配偶者の 父親	配偶者の 母親	あなたの 兄弟姉妹	配偶者の 兄弟姉妹	あなたの就学前の 子ども (0～5歳児)
第一・五分位(n=139)	37.41	9.35	15.83	0.72	0.72	9.35	0.00	23.02
第二・五分位(n=140)	55.00	5.71	5.71	0.71	0.71	3.57	0.71	24.29
第三・五分位(n=179)	73.18	4.47	6.15	0.00	0.56	2.23	0.00	34.64
第四・五分位(n=144)	76.39	0.69	1.39	0.00	0.00	1.39	0.00	31.94
第五・五分位(n=120)	82.50	0.83	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	43.33
全体 (n=722)	64.96	4.29	6.37	0.28	0.42	3.32	0.14	31.30
	あなたの 子ども (小学生)	あなたの 子ども (中学生)	あなたの 子ども (高校生世代)	18歳以上のあなた の子ども(高校卒 業程度以降の年 齢)	その他の 親族	あなたの パートナー (事実婚相手)	あなたの パートナー (交際相手)	その他
第一・五分位(n=139)	22.30	11.51	6.47	3.60	0.72	0.00	3.60	0.00
第二・五分位(n=140)	24.29	7.86	5.71	5.00	0.71	1.43	4.29	0.00
第三・五分位(n=179)	29.05	12.29	6.15	1.68	0.00	0.56	3.91	0.56
第四・五分位(n=144)	18.06	4.17	3.47	0.69	0.00	2.08	3.47	0.00
第五・五分位(n=120)	19.17	5.83	4.17	0.00	0.00	2.50	2.50	0.00
全体 (n=722)	22.99	8.59	5.26	2.22	0.28	1.25	3.60	0.14

注：下線部は5%水準の有意確率(p<0.05)。

(5) 最終学歴

■単純集計

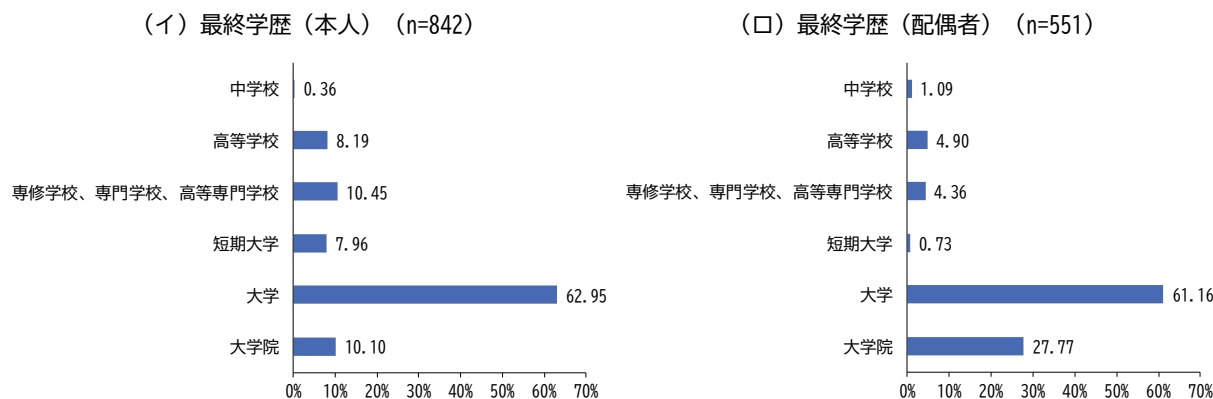
- ・本人、配偶者ともに、「4年制大学」卒業者の割合が高い
- ・配偶者で「大学院」卒業者は約3割

図表 3-20 は、最終学歴の単純集計の結果である。

「(イ) 最終学歴 (本人)」をみると、「大学」が62.95%と最大の値を示し、次いで「専修学校、専門学校、高等専門学校」は10.45%、「大学院」は10.10%、「高等学校」は8.19%、「短期大学」は7.96%、「中学校」は0.36%となっている。

また、「(ロ) 最終学歴 (配偶者)」をみると、「大学」が61.16%と最大の値を示し、次いで「大学院」は27.77%、「高等学校」は4.90%、「専修学校、専門学校、高等専門学校」は4.36%、「中学校」は1.09%、「短期大学」は0.73%となっている。

図表 3-20 最終学歴 (SA)



■クロス集計

ア 最終学歴（本人）

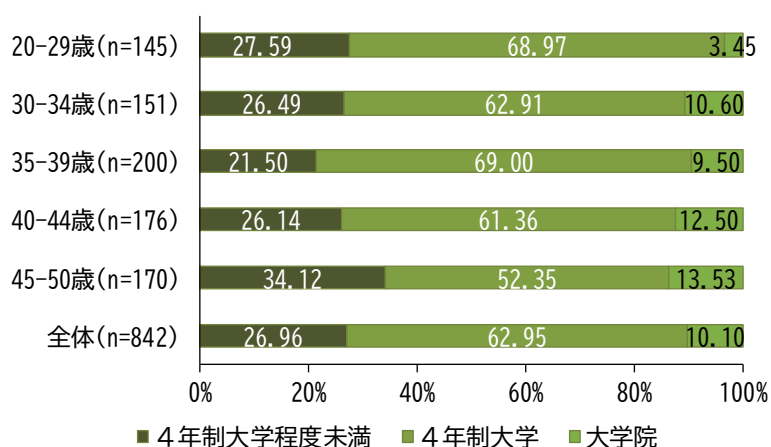
(ア) 年齢

20～44歳の「4年制大学」以上卒業者は、7割以上

図表3-21は、年齢と最終学歴（本人）のクロス集計の結果である。

「4年制大学」以上を卒業している人の割合をみると、「35-39歳」が78.50%（69.00+9.50）と最大の値を示し、次いで「40-44歳」は73.86%（61.36+12.50）、「30-34歳」は73.51%（62.91+10.60）、「20-29歳」は72.41%（68.97+3.45）、「45-50歳」は65.88%（52.35+13.53）となっている。

図表3-21 年齢別最終学歴（本人）



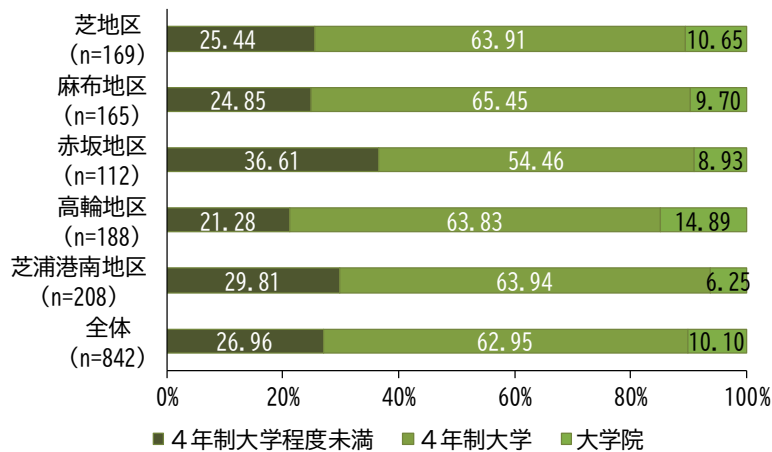
(イ) 居住地区

高輪地区は、「4年制大学」以上卒業者の割合が高い

図表3-22は、居住地区と最終学歴（本人）のクロス集計の結果である。

「4年制大学」以上を卒業している人の割合をみると、「高輪地区」が78.72%（63.83+14.89）と最大の値を示し、次いで「麻布地区」は75.15%（65.45+9.70）、「芝地区」は74.56%（63.91+10.65）、「芝浦港南地区」は70.19%（63.94+6.25）、「赤坂地区」は63.39%（54.46+8.93）となっている。

図表 3-22 居住地区別最終学歴（本人）



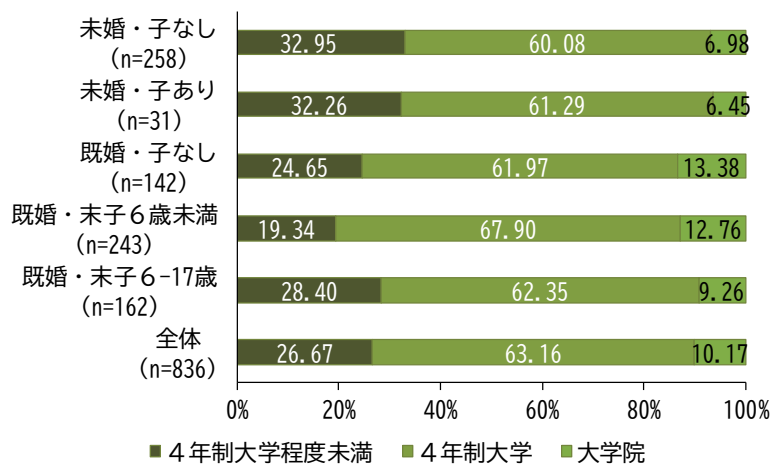
(ウ) 世帯類型

既婚者は、「4年制大学」以上卒業者の割合が高い

図表 3-23 は、世帯類型と最終学歴（本人）のクロス集計の結果である。

「4年制大学」以上を卒業している人の割合をみると、「既婚・末子6歳未満」が80.66% (67.90+12.76) と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は75.35% (61.97+13.38)、「既婚・末子6-17歳」は71.60% (62.35+9.26)、「未婚・子あり」は67.74% (61.29+6.45)、「未婚・子なし」は67.05% (60.08+6.98) となっている。

図表 3-23 世帯類型別最終学歴（本人）



(エ) 世帯所得

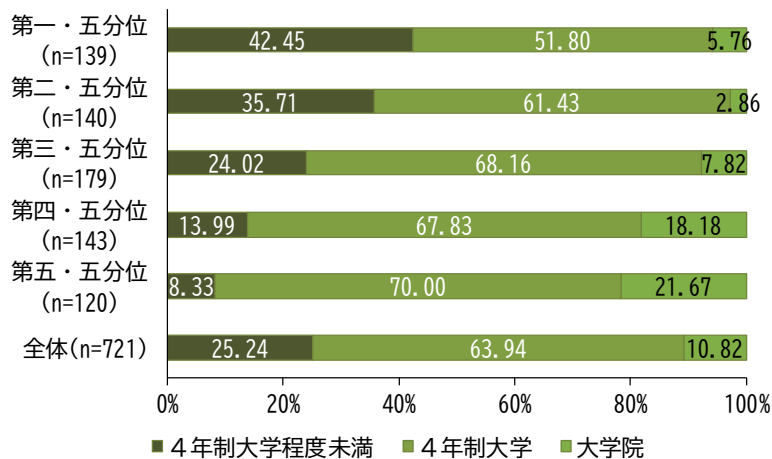
ア 最終学歴（本人）

所得が高いほど、「4年制大学」以上卒業者の割合が高い

図表 3-24 は、世帯所得と最終学歴（本人）のクロス集計の結果である。

「4年制大学」以上を卒業している人の割合をみると、「第五・五分位」が91.67% (70.00+21.67)と最大の値を示し、次いで「第四・五分位」は86.01% (67.83+18.18)、「第三・五分位」は75.98% (68.16+7.82)、「第二・五分位」は64.29% (61.43+2.86)、「第一・五分位」は57.55% (51.80+5.76)となっている。

図表 3-24 世帯所得別最終学歴（本人）



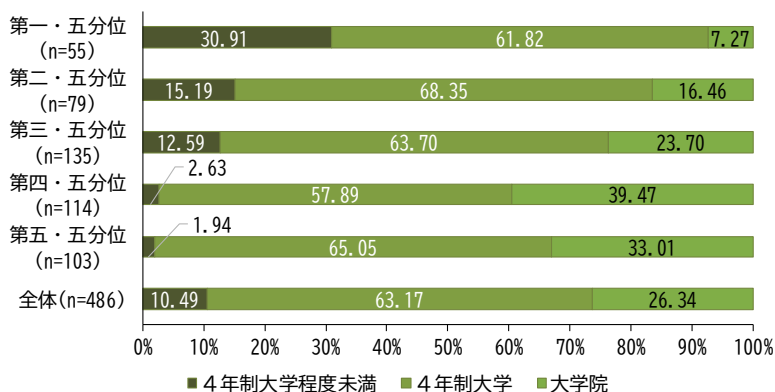
イ 最終学歴（配偶者）

所得が高いほど、「4年制大学」以上卒業者の割合が高い

図表 3-25 は、世帯所得と最終学歴（配偶者）のクロス集計の結果である。

「4年制大学」以上を卒業している人の割合をみると、「第五・五分位」が98.06% (65.05+33.01)と最大の値を示し、次いで「第四・五分位」は97.37% (57.89+39.47)、「第三・五分位」は87.41% (63.70+23.70)、「第二・五分位」は84.81% (68.35+16.46)、「第一・五分位」は69.09% (61.82+7.27)となっている。

図表 3-25 世帯所得別最終学歴（配偶者）



(6) 雇用形態

■単純集計

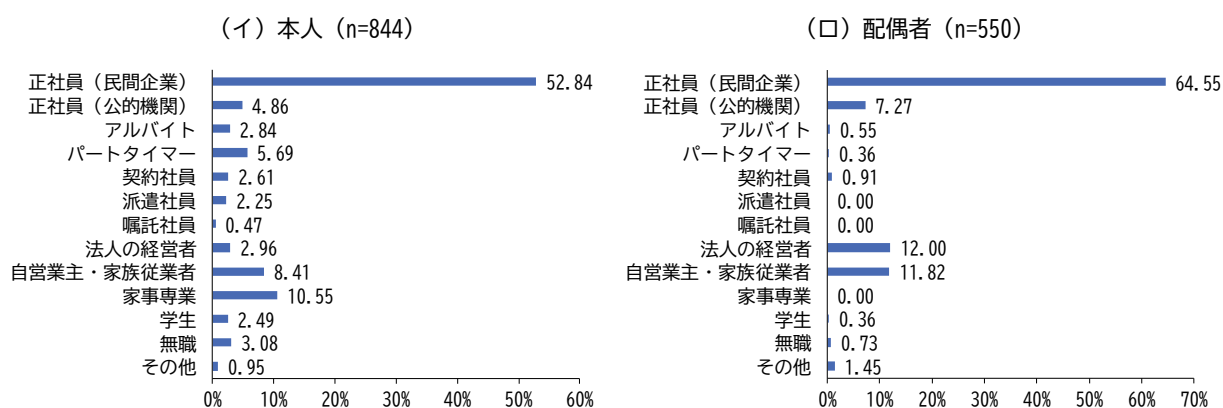
- ・「正社員」をみると、本人は約6割、配偶者は約7割
- ・「法人の経営者」、「自営業主・家族従業者」をみると、本人は約1割、配偶者は約2.5割

図表3-26は、雇用形態の単純集計の結果である。

「(イ) 本人」をみると、「正社員（民間企業）」が52.84%と最大の値を示し、次いで「家事専業」は10.55%、「自営業主・家族従業者」は8.41%となっている。

「(ロ) 配偶者」をみると、「正社員（民間企業）」が64.55%と最大の値を示し、次いで「法人の経営者」は12.00%、「自営業主・家族従業者」は11.82%となっている。

図表3-26 雇用形態 (SA)



■クロス集計

ア 雇用形態（本人）

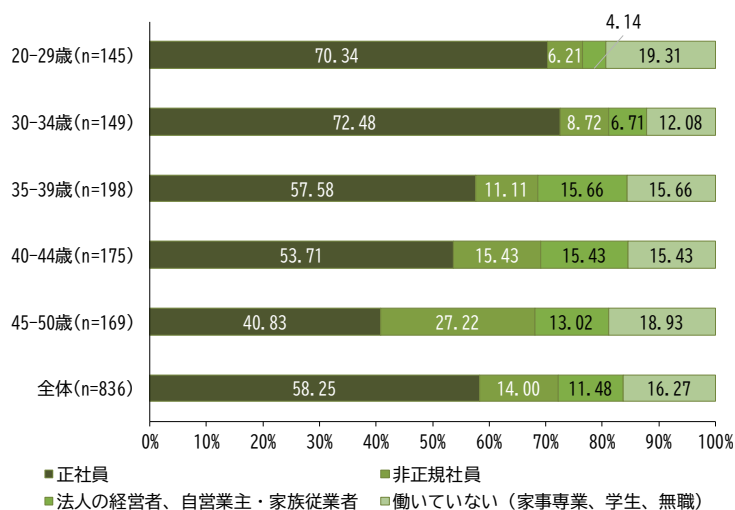
（ア）年齢

年齢が低いほど、「正社員」の割合が高い傾向にある

図表3-27は、年齢と雇用形態（本人）のクロス集計の結果である。

「正社員」をみると、「30-34歳」が72.48%と最大の値を示し、次いで「20-29歳」は70.34%、「35-39歳」は57.58%、「40-44歳」は53.71%、「45-50歳」は40.83%となっている。

図表 3-27 年齢別雇用形態（本人）



注：「正社員」は「正社員（民間企業）」と「正社員（公的機関）」を含み、「非正規社員」には「アルバイト」「パートタイマー」「契約社員」「派遣社員」「嘱託社員」を含む。以下、同様。

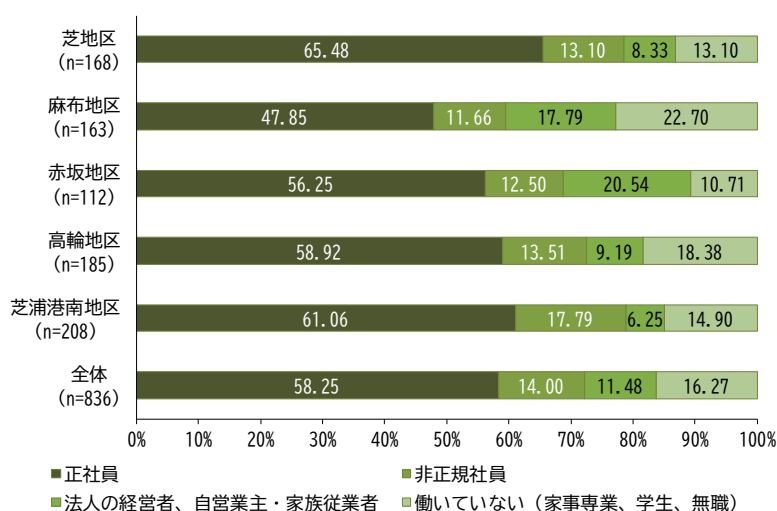
（イ）居住地区

麻布地区を除き、「正社員」の割合は5割以上

図表 3-28 は、居住地区と雇用形態（本人）のクロス集計の結果である。

「正社員」をみると、「芝地区」が65.48%と最大の値を示し、次いで「芝浦港南地区」は61.06%、「高輪地区」は58.92%、「赤坂地区」は56.25%、「麻布地区」は47.85%となっている。

図表 3-28 居住地区別雇用形態（本人）



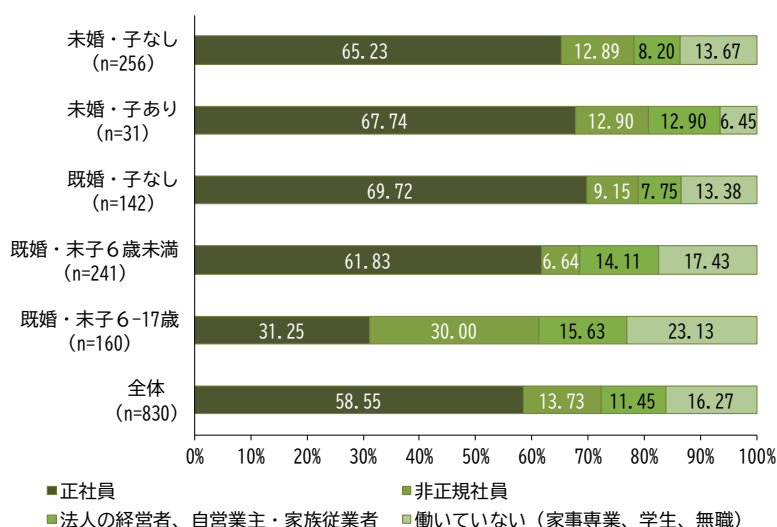
(ウ) 世帯類型

既婚で子どもと同居している人の正社員割合が他の世帯類型と比較して低く、特に既婚で末子が6-17歳の人「正社員」の割合が低い

図表3-29は、世帯類型と雇用形態（本人）のクロス集計の結果である。

「正社員」をみると、「既婚・子なし」が69.72%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は67.74%、「未婚・子なし」は65.23%、「既婚・末子6歳未満」は61.83%、「既婚・末子6-17歳」は31.25%となっている。

図表3-29 世帯類型別雇用形態（本人）



(エ) 世帯所得

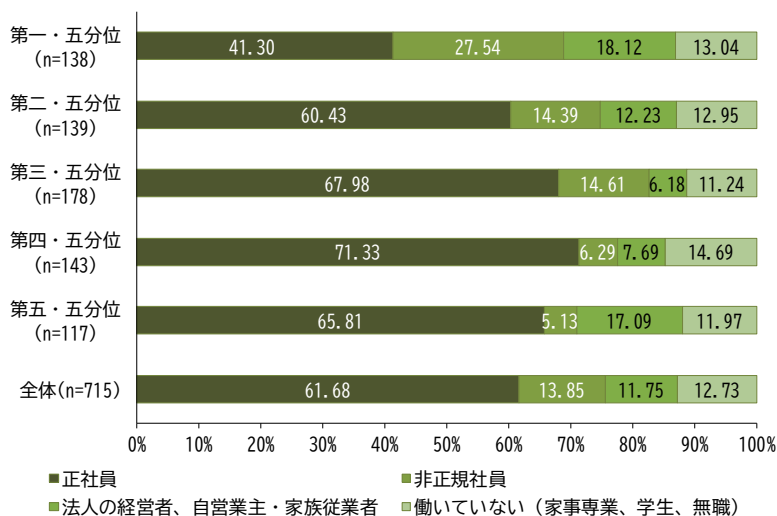
- ・所得が中程度の層は、「正社員」の割合が高い
- ・「第一・五分位」と「第五・五分位」は、「法人の経営者、自営業主・家族従業者」の割合が高い

図表3-30は、世帯所得と雇用形態（本人）のクロス集計の結果である。

「正社員」をみると、「第四・五分位」が71.33%と最大の値を示し、次いで「第三・五分位」は67.98%、「第五・五分位」は65.81%、「第二・五分位」は60.43%、「第一・五分位」は41.30%となっている。

また、「法人の経営者、自営業主・家族従業者」をみると、「第一・五分位」が18.12%と最大の値を示し、次いで「第五・五分位」は17.09%、「第二・五分位」は12.23%、「第四・五分位」は7.69%、「第三・五分位」は6.18%となっている。

図表 3-30 世帯所得別雇用形態（本人）



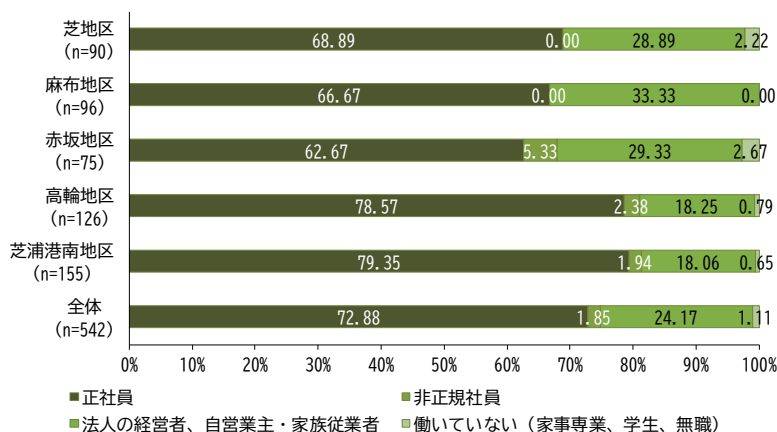
イ 雇用形態（配偶者） （ア）居住地区

高輪地区と芝浦港南地区は、他地区と比較して「正社員」の割合が高い

図表 3-31 は、居住地区と雇用形態（配偶者）のクロス集計の結果である。

「正社員」をみると、「芝浦港南地区」が 79.35%と最大の値を示し、次いで「高輪地区」は 78.57%、「芝地区」は 68.89%、「麻布地区」は 66.67%、「赤坂地区」は 62.67%となっている。

図表 3-31 居住地区別雇用形態（配偶者）



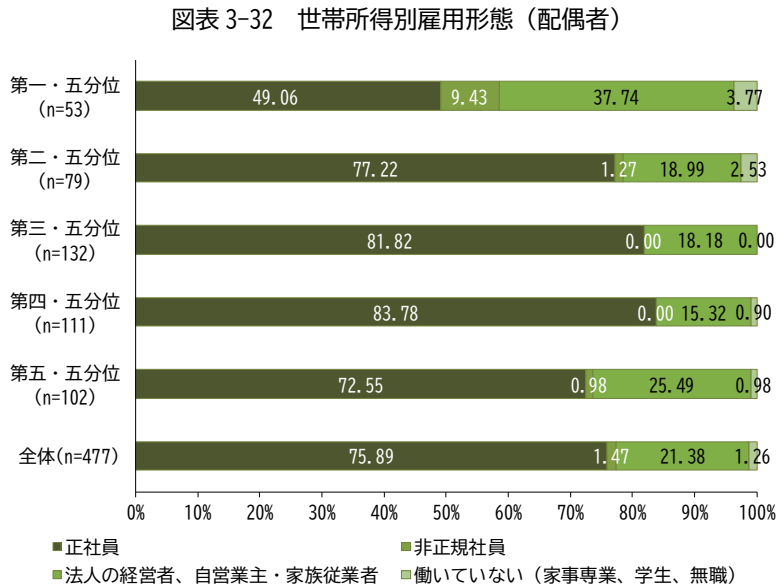
（イ）世帯所得

- ・「第一・五分位」を除き、「正社員」の割合は7割以上
- ・「第一・五分位」と「第五・五分位」は、「法人の経営者、自営業主・家族従業者」の割合が高い

図表 3-32 は、世帯所得と雇用形態（配偶者）のクロス集計の結果である。

「正社員」をみると、「第四・五分位」が83.78%と最大の値を示し、次いで「第三・五分位」は81.82%、「第二・五分位」は77.22%、「第五・五分位」は72.55%、「第一・五分位」は49.06%となっている。

また、「法人の経営者、自営業主・家族従業者」をみると、「第一・五分位」が37.74%と最大の値を示し、次いで「第五・五分位」は25.49%、「第二・五分位」は18.99%、「第三・五分位」は18.18%、「第四・五分位」は15.32%となっている。



4 結婚に関する実態と考え方

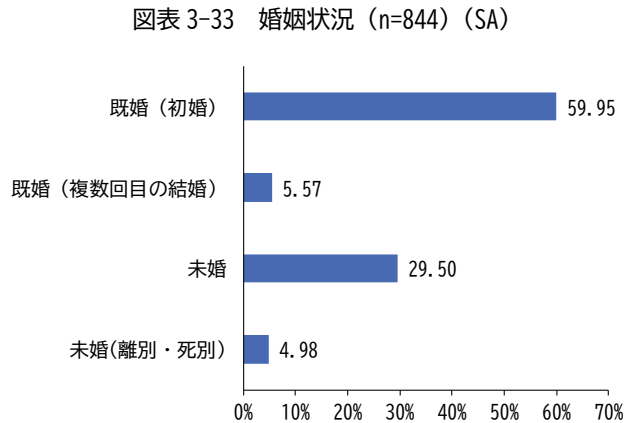
（1）婚姻状況

■単純集計

既婚者が半数以上を占めている

図表 3-33 は、婚姻状況の単純集計の結果である。

「既婚（初婚）」が59.95%と最大の値を示し、次いで「未婚」は29.50%、「既婚（複数回目の結婚）」は5.57%、「未婚（離別・死別）」は4.98%となっている。



注：既婚には、事実婚やみなとマリージュ制度（パートナーシップ制度）を含む。

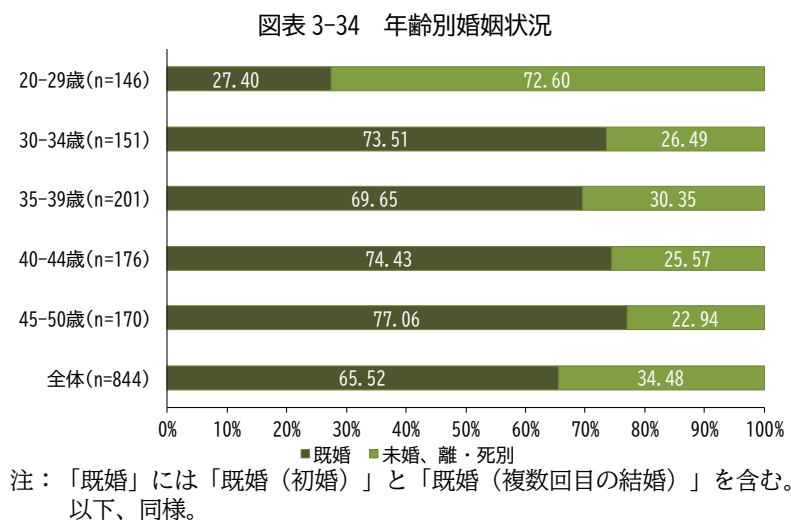
■クロス集計

ア 年齢別

20 歳代の既婚者は約 3 割である一方、30 歳以上の既婚者は約 7 割以上

図表 3-34 は、年齢と婚姻状況のクロス集計の結果である。

「既婚」をみると、「45-50 歳」が 77.06%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」が 74.43%、「30-34 歳」が 73.51%、「35-39 歳」が 69.65%、「20-29 歳」が 27.40%となっている。

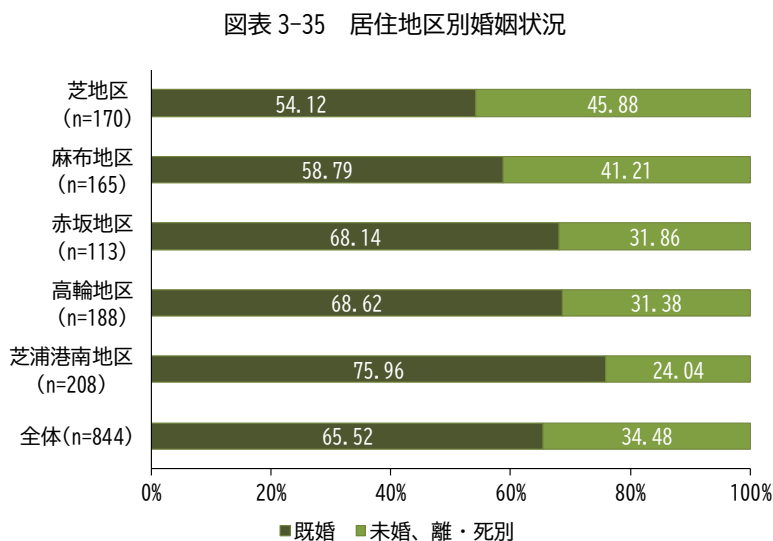


イ 居住地区

芝浦港南地区で既婚者の割合が高い

図表 3-35 は、居住地区と婚姻状況のクロス集計の結果である。

「既婚」をみると、「芝浦港南地区」が 75.96%と最大の値を示し、次いで「高輪地区」は 68.62%、「赤坂地区」は 68.14%、「麻布地区」は 58.79%、「芝地区」は 54.12%となっている。



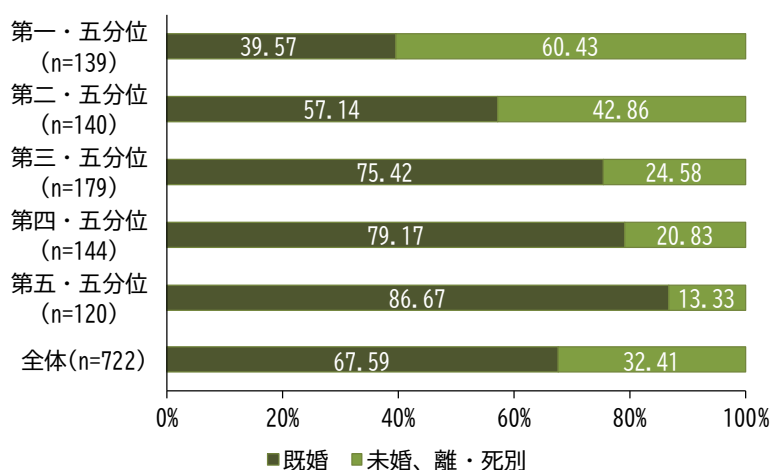
ウ 世帯所得

所得が高いほど、既婚者の割合が高い

図表3-36は、世帯所得と婚姻状況のクロス集計の結果である。

「既婚」をみると、「第五・五分位」が86.67%と最大の値を示し、次いで「第四・五分位」は79.17%、「第三・五分位」は75.42%、「第二・五分位」は57.14%、「第一・五分位」は39.57%となっている。

図表 3-36 世帯所得別婚姻状況



(2) 結婚期間

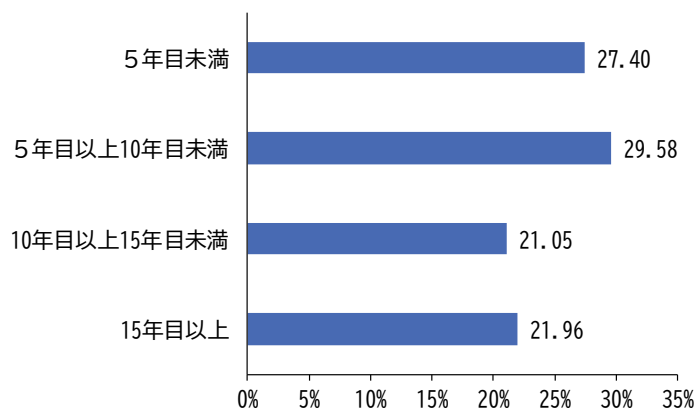
■単純集計

結婚期間が10年目未満の割合が約6割

図表3-37は、結婚期間の単純集計の結果である。

「5年目以上10年目未満」が29.58%と最大の値を示し、次いで「5年目未満」は27.40%、「15年目以上」は21.96%、「10年目以上15年目未満」は21.05%となっている。

図表 3-37 結婚期間 (n=551) (SA)



■クロス集計

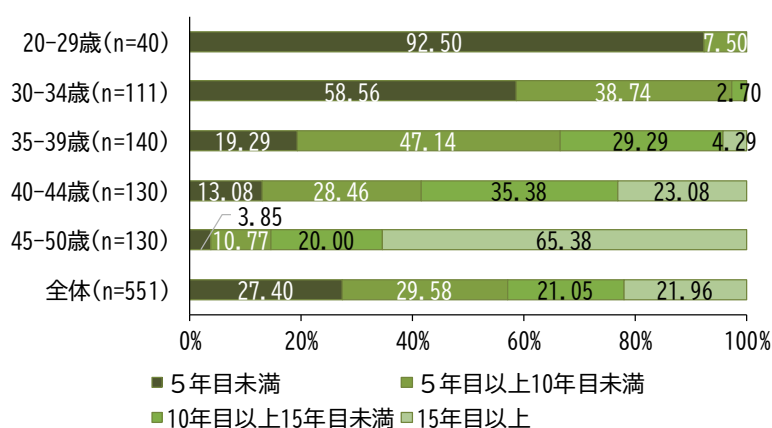
ア 年齢

年齢が高いほど、結婚期間が長い割合が高い

図表 3-38 は、年齢と結婚期間のクロス集計の結果である。

「15 年目以上」をみると、「45-50 歳」が 65.38%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 23.08%、「35-39 歳」は 4.29%、「20-29 歳」と「30-34 歳」は 0%となっている。

図表 3-38 年齢別結婚期間



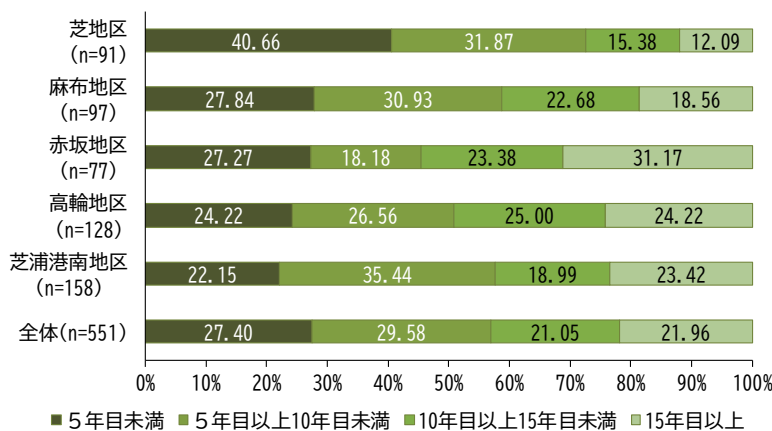
イ 居住地区

赤坂地区は、結婚期間が長い人の割合が高い

図表 3-39 は、居住地区と結婚期間のクロス集計の結果である。

「15 年目以上」をみると、「赤坂地区」が 31.17%と最大の値を示し、次いで「高輪地区」は 24.22%、「芝浦港南地区」は 23.42%、「麻布地区」は 18.56%、「芝地区」は 12.09%となっている。

図表 3-39 居住地区別結婚期間



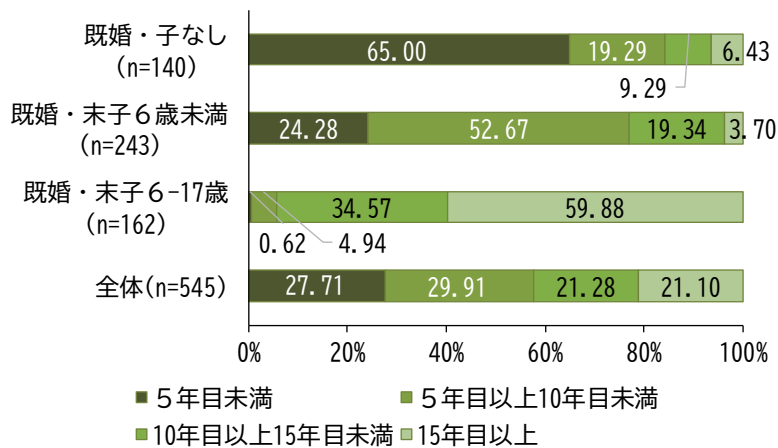
ウ 世帯類型

子どもと同居している人（特に末子が6-17歳の子どもと同居している人）は、結婚期間が長い割合が高い

図表3-40は、世帯類型と結婚期間のクロス集計の結果である。

「15年目以上」をみると、「既婚・末子6-17歳」が59.88%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は6.43%、「既婚・末子6歳未満」は3.70%となっている。

図表3-40 世帯類型別結婚期間



注：未婚者については、結婚期間が0年であるため、本図表からは除いた。

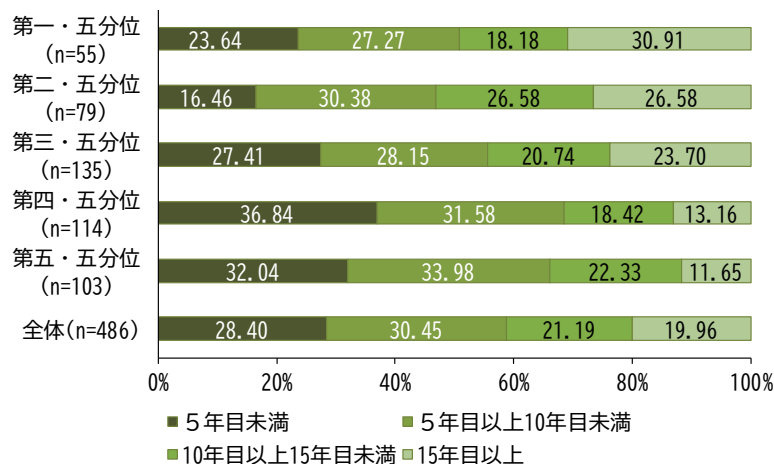
エ 世帯所得

所得が低いほど、結婚期間が長い人の割合が高い

図表3-41は、世帯所得と結婚期間のクロス集計の結果である。

「15年目以上」をみると、「第一・五分位」が30.91%と最大の値を示し、次いで「第二・五分位」は26.58%、「第三・五分位」は23.70%、「第四・五分位」は13.16%、「第五・五分位」は11.65%となっている。

図表3-41 世帯所得別結婚期間



(3) 結婚希望

■単純集計

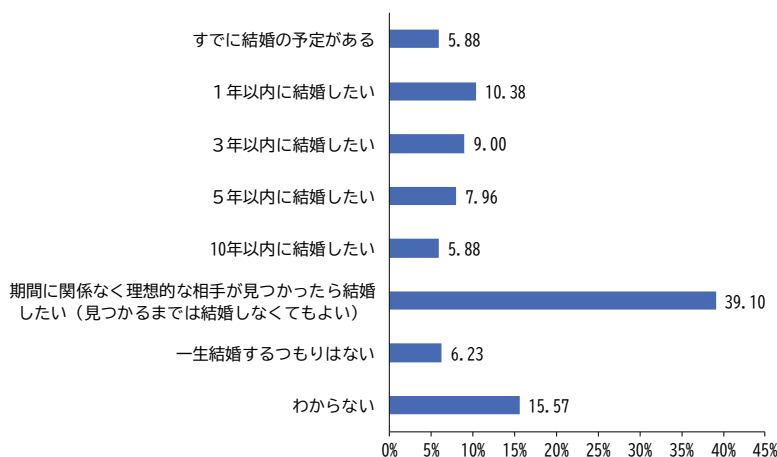
「一生結婚するつもりはない」人の割合が、全国と比較して顕著に低い

図表3-42は、結婚希望の単純集計の結果である。

「期間に関係なく理想的な相手が見つかったら結婚したい（見つかるまでは結婚しなくてもよい）」が39.10%と最大の値を示し、次いで「わからない」は15.57%、「1年以内に結婚したい」は10.38%となっている。

なお、34歳以下の未婚女性のうち、「一生結婚するつもりはない」人の割合は4.14%となっており、国立社会保障・人口問題研究所が2021年に実施した第16回出生動向基本調査による全国値（34歳以下の未婚女性の回答割合：14.6%）と比較して顕著に低い。

図表3-42 結婚希望（n=289）（SA）



注：既婚には、事実婚やみなとマリージュ制度（パートナーシップ制度）の利用を含む。

■クロス集計

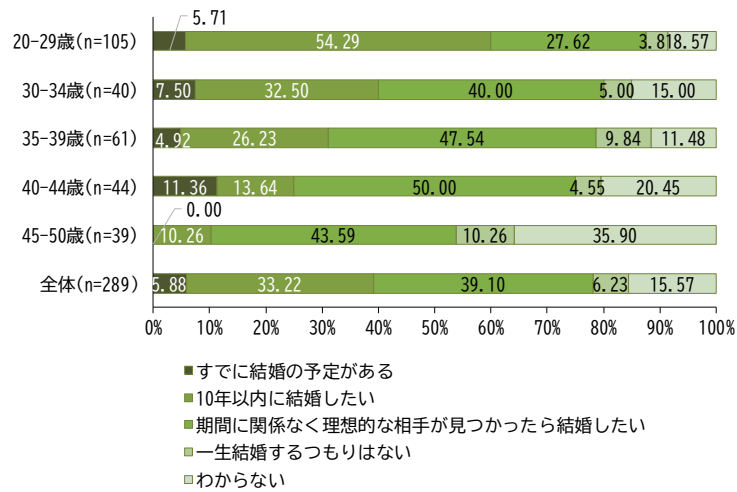
ア 年齢

年齢が高いほど、「一生結婚するつもりはない」又は「わからない」と回答した割合が高い

図表3-43は、年齢と結婚希望のクロス集計の結果である。

「一生結婚するつもりはない」と「わからない」の合計の割合をみると、「45-50歳」が46.15%（10.26+35.90）と最大の値を示し、次いで「40-44歳」は25.00%（4.55+20.45）、「35-39歳」は21.31%（9.84+11.48）、「30-34歳」は20.00%（5.00+15.00）、「20-29歳」は12.38%（3.81+8.57）となっている。

図表 3-43 年齢別結婚希望



注：「10年以内に結婚したい」には、「1年以内に結婚したい」「3年以内に結婚したい」「5年以内に結婚したい」「10年以内に結婚したい」を含む。以下、同様。

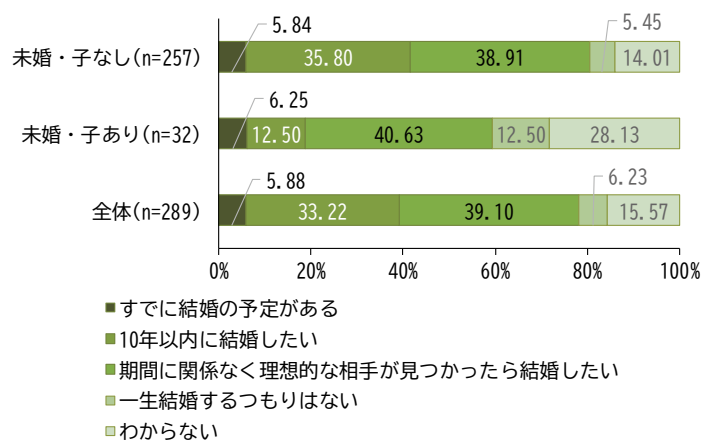
イ 世帯類型

未婚で子どもと同居していない人より、未婚で子どもと同居している人の方が、「一生結婚するつもりはない」又は「わからない」と回答した割合が高い

図表 3-44 は、世帯類型と結婚希望のクロス集計の結果である。

「一生結婚するつもりはない」と「わからない」の合計の割合をみると、「未婚・子なし」は 19.46% (5.45+14.01)、「未婚・子あり」は 40.63% (12.50+28.13) となっている。

図表 3-44 世帯類型別結婚希望



(4) 結婚を希望する年齢

■単純集計

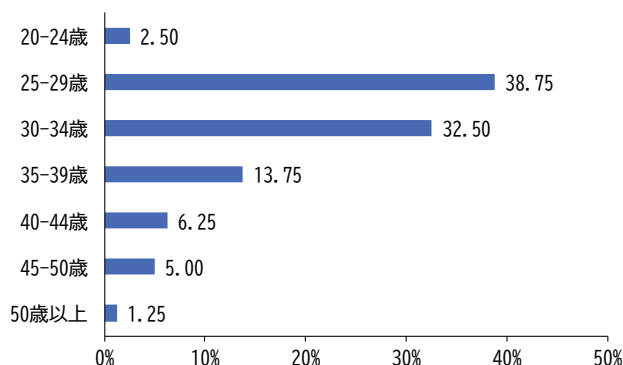
結婚を希望する年齢は 25 ～ 34 歳が約 7 割を占めている

図表3-45は、結婚を希望する年齢の単純集計の結果である。

本設問は、未婚で、結婚に対する考え方として「1年以内に結婚したい」「3年以内に結婚したい」「5年以内に結婚したい」「10年以内に結婚したい」のいずれかを選択し、かつ具体的に結婚したいと考える年齢がある人を対象とした設問である。

「25-29歳」が38.75%と最大の値を示し、次いで「30-34歳」は32.50%、「35-39歳」は13.75%となっている。

図表3-45 結婚を希望する年齢（n=80）（FA）



（5）結婚の利点

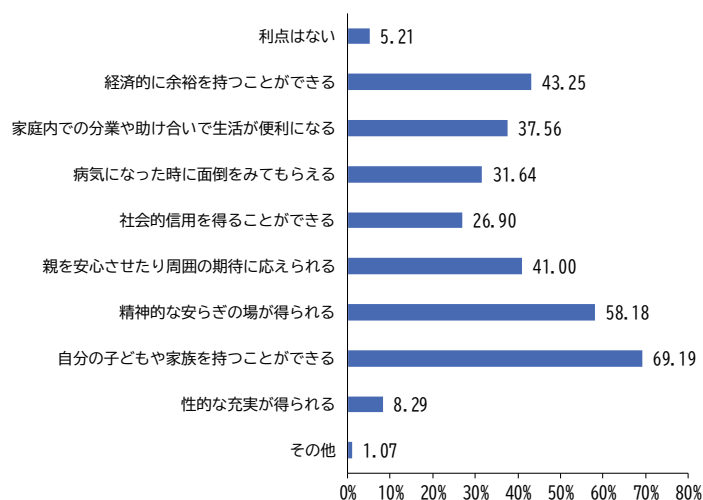
■単純集計

精神的・経済的な理由が比較的多い

図表3-46は、結婚の利点の単純集計の結果である。

「自分の子どもや家族を持つことができる」が69.19%と最大の値を示し、次いで「精神的な安らぎの場が得られる」は58.18%、「経済的に余裕を持つことができる」は43.25%となっている。

図表3-46 結婚の利点（n=844）（MA）



■クロス集計

ア 年齢

「社会的信用を得ることができる」「精神的な安らぎの場が得られる」で有意な差がみられ、いずれも 30～34 歳の回答割合が高い

図表 3-47 は、年齢と結婚の利点のクロス集計の結果であり、「社会的信用を得ることができる」「精神的な安らぎの場が得られる」で有意な差が示されている。

「社会的信用を得ることができる」をみると、「30-34 歳」が 34.44%と最大の値を示し、次いで「45-50 歳」は 31.76%、「40-44 歳」は 28.41%、「35-39 歳」は 23.38%、「20-29 歳」は 16.44%となっている。

「精神的な安らぎの場が得られる」をみると、「30-34 歳」が 67.55%と最大の値を示し、次いで「20-29 歳」が 60.96%、「40-44 歳」が 59.66%、「35-39 歳」が 56.22%、「45-50 歳」が 48.24%となっている。

図表 3-47 年齢別結婚の利点 (%)

	利点はない	経済的に余裕を持つことができる	家庭内での分業や助け合いで生活が便利になる	病気になった時に面倒をみてもらえる	社会的信用を得ることができる
20-29歳(n=146)	3.42	35.62	31.51	34.93	16.44
30-34歳(n=151)	6.62	47.68	41.06	30.46	34.44
35-39歳(n=201)	5.47	46.77	36.32	29.85	23.38
40-44歳(n=176)	5.68	39.20	38.64	32.95	28.41
45-50歳(n=170)	4.71	45.88	40.00	30.59	31.76
全体(n=844)	5.21	43.25	37.56	31.64	26.90

	親を安心させたり周囲の期待に応えられる	精神的な安らぎの場が得られる	自分の子どもや家族を持つことができる	性的な充実が得られる	その他
20-29歳(n=146)	41.78	60.96	67.81	10.96	2.74
30-34歳(n=151)	49.67	67.55	76.82	8.61	0.00
35-39歳(n=201)	38.31	56.22	69.15	7.46	0.50
40-44歳(n=176)	41.48	59.66	68.18	6.25	1.14
45-50歳(n=170)	35.29	48.24	64.71	8.82	1.18
全体(n=844)	41.00	58.18	69.19	8.29	1.07

注：下線部は 5%水準の有意確率(p.<0.05)。

イ 居住地区

「利点はない」で有意な差がみられ、麻布地区で約 1 割と最も高い

図表 3-48 は、居住地区と結婚の利点のクロス集計の結果であり、「利点はない」で有意な差が示されている。

「利点はない」をみると、「麻布地区」が 10.91%と最大の値を示し、次いで「赤坂地区」は 7.08%、「芝地区」は 3.53%、「高輪地区」は 3.19%、「芝浦港南地区」は 2.88%となっている。

図表 3-48 居住地区別結婚の利点 (%)

	利点はない	経済的に余裕を持つことができる	家庭内での分業や助け合いで生活が便利になる	病気になった時に面倒をみてもらえる	社会的信用を得ることができる
芝地区(n=170)	3.53	39.41	34.71	32.35	25.88
麻布地区(n=165)	10.91	46.06	36.97	32.12	28.48
赤坂地区(n=113)	7.08	41.59	37.17	33.63	26.55
高輪地区(n=188)	3.19	39.36	37.23	29.79	23.94
芝浦港南地区(n=208)	2.88	48.56	40.87	31.25	29.33
全体(n=844)	5.21	43.25	37.56	31.64	26.90
	親を安心させたり周囲の期待に応えられる	精神的な安らぎの場が得られる	自分の子どもや家族を持つことができる	性的な充実が得られる	その他
芝地区(n=170)	40.00	58.82	66.47	10.59	1.18
麻布地区(n=165)	41.21	55.76	64.24	11.52	0.61
赤坂地区(n=113)	36.28	61.06	66.37	5.31	0.88
高輪地区(n=188)	43.62	57.98	72.87	7.98	1.60
芝浦港南地区(n=208)	41.83	58.17	73.56	5.77	0.96
全体(n=844)	41.00	58.18	69.19	8.29	1.07

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

ウ 世帯類型

既婚で子どもと同居していない世帯は、有意な差がみられた選択肢における回答割合が高い（結婚の利点を比較的多く感じやすい）傾向がある

図表 3-49 は、世帯類型と結婚の利点のクロス集計の結果であり、「利点はない」「経済的に余裕を持つことができる」「家庭内での分業や助け合いで生活が便利になる」「病気になった時に面倒をみてもらえる」「社会的信用を得ることができる」「親を安心させたり周囲の期待に応えられる」「精神的な安らぎの場が得られる」「自分の子どもや家族を持つことができる」で有意な差が示されている。

「利点はない」をみると、「未婚・子あり」が18.75%と最大の値を示し、次いで「未婚・子なし」は8.49%、「既婚・子なし」は3.52%、「既婚・末子6歳未満」は3.29%、「既婚・末子6-17歳」は1.85%となっている。

「経済的に余裕を持つことができる」をみると、「既婚・末子6歳未満」が51.03%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は50.00%、「既婚・末子6-17歳」は43.21%、「未婚・子あり」は40.63%、「未婚・子なし」は31.66%となっている。

「家庭内での分業や助け合いで生活が便利になる」をみると、「既婚・子なし」が50.70%と最大の値を示し、次いで「既婚・末子6歳未満」は44.44%、「未婚・子あり」は40.63%、「既婚・末子6-17歳」は35.19%、「未婚・子なし」は24.32%となっている。

「病気になった時に面倒をみてもらえる」をみると、「既婚・子なし」が43.66%と最大の値を示し、次いで「未婚・子なし」は35.52%、「既婚・末子6歳未満」は27.16%、「既婚・末子6-17歳」は24.07%、「未婚・子あり」は21.88%となっている。

「社会的信用を得ることができる」をみると、「既婚・子なし」が31.69%と最大の値を示し、次いで「既婚・末子6-17歳」は31.48%、「既婚・末子6歳未満」が29.63%、「未婚・子なし」は

22.01%、「未婚・子あり」は6.25%となっている。

「親を安心させたり周囲の期待に応えられる」をみると、「既婚・子なし」が50.00%と最大の値を示し、次いで「既婚・末子6歳未満」は41.98%、「未婚・子なし」は41.70%、「既婚・末子6-17歳」は36.42%、「未婚・子あり」は15.63%となっている。

「精神的な安らぎの場が得られる」をみると、「既婚・子なし」が74.65%と最大の値を示し、次いで「既婚・末子6歳未満」は66.26%、「未婚・子なし」は49.81%、「既婚・末子6-17歳」は48.77%、「未婚・子あり」は43.75%となっている。

「自分の子どもや家族を持つことができる」をみると、「既婚・末子6歳未満」が88.89%と最大の値を示し、次いで「既婚・末子6-17歳」は88.27%、「既婚・子なし」は61.27%、「未婚・子なし」は47.49%、「未婚・子あり」は28.13%となっている。

図表 3-49 世帯類型別結婚の利点 (%)

	利点はない	経済的に余裕を持つことができる	家庭内での分業や助け合いで生活が便利になる	病気になった時に面倒をみてもらえる	社会的信用を得ることができる
未婚・子なし(n=259)	8.49	31.66	24.32	35.52	22.01
未婚・子あり(n=32)	18.75	40.63	40.63	21.88	6.25
既婚・子なし(n=142)	3.52	50.00	50.70	43.66	31.69
既婚・末子6歳未満(n=243)	3.29	51.03	44.44	27.16	29.63
既婚・末子6-17歳(n=162)	1.85	43.21	35.19	24.07	31.48
全体(n=838)	5.25	42.96	37.35	31.74	27.09
	親を安心させたり周囲の期待に応えられる	精神的な安らぎの場が得られる	自分の子どもや家族を持つことができる	性的な充実が得られる	その他
未婚・子なし(n=259)	41.70	49.81	47.49	9.65	1.93
未婚・子あり(n=32)	15.63	43.75	28.13	12.50	0.00
既婚・子なし(n=142)	50.00	74.65	61.27	11.27	2.11
既婚・末子6歳未満(n=243)	41.98	66.26	88.89	6.17	0.00
既婚・末子6-17歳(n=162)	36.42	48.77	88.27	6.17	0.62
全体(n=838)	41.17	58.35	68.97	8.35	1.07

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

工 世帯所得

低所得者層では、有意な差がみられた選択肢における回答割合が低い（結婚の利点を感じにくい傾向）

図表 3-50 は、世帯所得と結婚の利点のクロス集計の結果であり、「経済的に余裕を持つことができる」「家庭内での分業や助け合いで生活が便利になる」「社会的信用を得ることができる」「親を安心させたり周囲の期待に応えられる」「精神的な安らぎの場が得られる」「自分の子どもや家族を持つことができる」で有意な差が示されている。

「経済的に余裕を持つことができる」をみると、「第四・五分位」が56.25%と最大の値を示し、次いで「第三・五分位」は46.93%、「第五・五分位」は43.33%、「第二・五分位」は37.14%、「第一・五分位」は35.25%となっている。

「家庭内での分業や助け合いで生活が便利になる」をみると、「第四・五分位」が52.78%と最大の値を示し、次いで「第三・五分位」は46.37%、「第五・五分位」は39.17%、「第一・五分位」

は 28.78%、「第二・五分位」は 26.43%となっている。

「社会的信用を得ることができる」をみると、「第三・五分位」が 35.75%と最大の値を示し、次いで「第四・五分位」は 31.25%、「第五・五分位」は 30.83%、「第二・五分位」は 23.57%、「第一・五分位」は 17.27%となっている。

「親を安心させたり周囲の期待に応えられる」をみると、「第四・五分位」が 50.00%と最大の値を示し、次いで「第三・五分位」は 47.49%、「第五・五分位」は 42.50%、「第二・五分位」は 35.71%、「第一・五分位」は 33.09%となっている。

「精神的な安らぎの場が得られる」をみると、「第五・五分位」が 70.00%と最大の値を示し、次いで「第四・五分位」は 68.06%、「第三・五分位」は 55.87%、「第一・五分位」は 53.24%、「第二・五分位」は 47.14%となっている。

「自分の子どもや家族を持つことができる」をみると、「第三・五分位」は 75.42%と最大の値を示し、次いで「第五・五分位」は 73.33%、「第四・五分位」は 72.22%、「第二・五分位」は 71.43%、「第一・五分位」は 56.83%となっている。

図表 3-50 世帯所得別結婚の利点 (%)

	利点はない	経済的に余裕を持つことができる	家庭内での分業や助け合いで生活が便利になる	病気になった時に面倒をみてもらえる	社会的信用を得ることができる
第一・五分位(n=139)	8.63	35.25	28.78	24.46	17.27
第二・五分位(n=140)	5.00	37.14	26.43	30.00	23.57
第三・五分位(n=179)	3.35	46.93	46.37	34.08	35.75
第四・五分位(n=144)	2.08	56.25	52.78	38.19	31.25
第五・五分位(n=120)	5.00	43.33	39.17	31.67	30.83
全体(n=722)	4.71	44.04	39.20	31.86	28.12
	親を安心させたり周囲の期待に応えられる	精神的な安らぎの場が得られる	自分の子どもや家族を持つことができる	性的な充実が得られる	その他
第一・五分位(n=139)	33.09	53.24	56.83	7.19	0.00
第二・五分位(n=140)	35.71	47.14	71.43	4.29	0.71
第三・五分位(n=179)	47.49	55.87	75.42	11.73	0.56
第四・五分位(n=144)	50.00	68.06	72.22	9.72	2.08
第五・五分位(n=120)	42.50	70.00	73.33	7.50	0.00
全体(n=722)	42.11	58.45	70.08	8.31	0.69

注：下線部は 5%水準の有意確率(p.<0.05)。

(6) 未婚理由

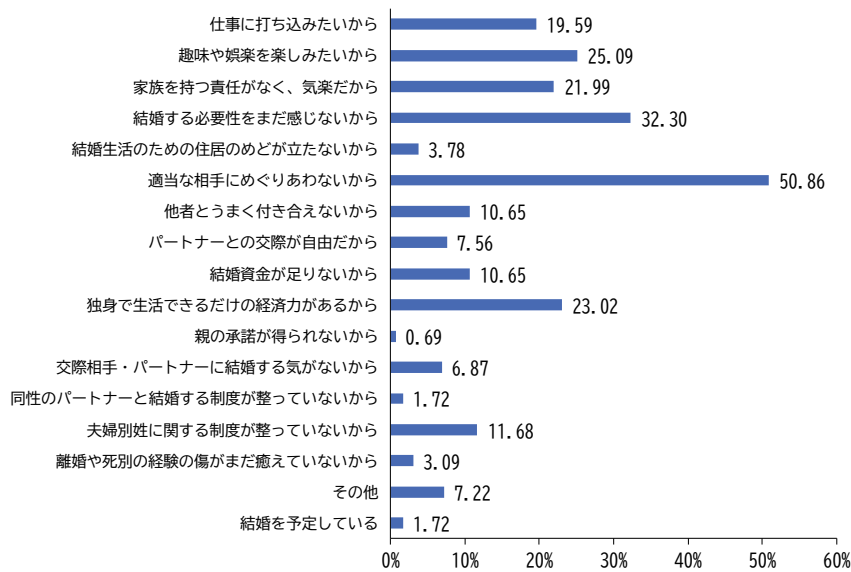
■単純集計

未婚理由として、「適当な相手にめぐりあわないから」が 5 割以上で最も多い

図表 3-51 は、未婚理由の単純集計の結果である。

「適当な相手にめぐりあわないから」が 50.86%と最大の値を示し、次いで「結婚する必要性をまだ感じないから」は 32.30%、「趣味や娯楽を楽しみたいから」は 25.09%となっている。

図表 3-51 未婚理由 (n=291) (MA)



■クロス集計

ア 年齢

20 歳代は、住居の目途が立たないと回答した割合が高く、30 歳代前半は趣味や娯楽を楽しみたいからと回答した割合が高い

図表 3-52 は、年齢と未婚理由のクロス集計の結果であり、「趣味や娯楽を楽しみたいから」「結婚生活のための住居のめどが立たないから」「パートナーとの交際が自由だから」「離婚や死別の経験の傷がまだ癒えていないから」で有意な差が示されている。

「趣味や娯楽を楽しみたいから」をみると、「30-34 歳」が 42.50%と最大の値を示し、次いで「35-39 歳」は 26.23%、「20-29 歳」は 25.47%、「40-44 歳」は 17.78%、「45-50 歳」が 12.82%となっている。

「結婚生活のための住居のめどが立たないから」をみると、「20-29 歳」が 8.49%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 2.22%、「35-39 歳」は 1.64%、「30-34 歳」と「45-50 歳」が 0%となっている。

「パートナーとの交際が自由だから」をみると、「45-50 歳」が 23.08%と最大の値を示し、次いで「35-39 歳」は 8.20%、「30-34 歳」は 7.50%、「20-29 歳」は 3.77%、「40-44 歳」は 2.22%となっている。

「離婚や死別の経験の傷がまだ癒えていないから」をみると、「45-50 歳」が 7.69%と最大の値を示し、次いで「35-39 歳」は 6.56%、「40-44 歳」は 4.44%、「20-29 歳」と「30-34 歳」は 0%となっている。

図表 3-52 年齢別未婚理由（％）

	仕事に打ち込みたいから	趣味や娯楽を楽しみたいから	家族を持つ責任がなく、気楽だから	結婚する必要性をまだ感じないから	結婚生活のための住居のめどが立たないから	適当な相手にめぐりあわないから	他者とうまく付き合えないから	パートナーとの交際が自由だから	結婚資金が足りないから
20-29歳(n=106)	21.70	25.47	20.75	35.85	8.49	45.28	10.38	3.77	17.92
30-34歳(n=40)	22.50	42.50	35.00	37.50	0.00	55.00	15.00	7.50	7.50
35-39歳(n=61)	24.59	26.23	24.59	26.23	1.64	50.82	11.48	8.20	6.56
40-44歳(n=45)	20.00	17.78	13.33	28.89	2.22	64.44	11.11	2.22	6.67
45-50歳(n=39)	2.56	12.82	17.95	30.77	0.00	46.15	5.13	23.08	5.13
全体(n=291)	19.59	25.09	21.99	32.30	3.78	50.86	10.65	7.56	10.65
	独身で生活できるだけの経済力があるから	親の承諾が得られないから	交際相手・パートナーに結婚する気がないから	同性のパートナーと結婚する制度が整っていないから	夫婦別姓に関する制度が整っていないから	離婚や死別の経験の傷がまだ癒えていないから	その他	結婚を予定している	
20-29歳(n=106)	17.92	0.94	10.38	1.89	12.26	0.00	8.49	2.83	
30-34歳(n=40)	27.50	0.00	0.00	2.50	12.50	0.00	7.50	0.00	
35-39歳(n=61)	27.87	0.00	3.28	3.28	9.84	6.56	1.64	3.28	
40-44歳(n=45)	22.22	0.00	8.89	0.00	15.56	4.44	6.67	0.00	
45-50歳(n=39)	25.64	2.56	7.69	0.00	7.69	7.69	12.82	0.00	
全体(n=291)	23.02	0.69	6.87	1.72	11.68	3.09	7.22	1.72	

注：下線部は5％水準の有意確率(p.<0.05)。

イ 居住地区

「適当な相手にめぐりあわないから」のみで有意な差がみられ、芝地区と高輪地区で約6割

図表 3-53 は、居住地区と未婚理由のクロス集計の結果であり、「適当な相手にめぐりあわないから」で有意な差が示されている。

「適当な相手にめぐりあわないから」をみると、「芝地区」が61.54％と最大の値を示し、次いで「高輪地区」が57.63％、「赤坂地区」が50.00％、「芝浦港南地区」が46.00％、「麻布地区」が36.76％となっている。

図表 3-53 居住地区別未婚理由（％）

	仕事に打ち込みたいから	趣味や娯楽を楽しみたいから	家族を持つ責任がなく、気楽だから	結婚する必要性をまだ感じないから	結婚生活のための住居のめどが立たないから	適当な相手にめぐりあわないから	他者とうまく付き合えないから	パートナーとの交際が自由だから	結婚資金が足りないから
芝地区(n=78)	19.23	26.92	25.64	30.77	1.28	61.54	14.10	7.69	10.26
麻布地区(n=68)	27.94	35.29	26.47	33.82	2.94	36.76	14.71	10.29	10.29
赤坂地区(n=36)	11.11	13.89	13.89	44.44	0.00	50.00	5.56	5.56	5.56
高輪地区(n=59)	16.95	18.64	18.64	28.81	8.47	57.63	10.17	5.08	8.47
芝浦港南地区(n=50)	18.00	24.00	20.00	28.00	6.00	46.00	4.00	8.00	18.00
全体(n=291)	19.59	25.09	21.99	32.30	3.78	50.86	10.65	7.56	10.65
	独身で生活できるだけの経済力があるから	親の承諾が得られないから	交際相手・パートナーに結婚する気がないから	同性のパートナーと結婚する制度が整っていないから	夫婦別姓に関する制度が整っていないから	離婚や死別の経験の傷がまだ癒えていないから	その他	結婚を予定している	
芝地区(n=78)	21.79	1.28	5.13	1.28	5.13	3.85	7.69	2.56	
麻布地区(n=68)	19.12	0.00	10.29	1.47	13.24	2.94	4.41	1.47	
赤坂地区(n=36)	13.89	0.00	5.56	0.00	19.44	2.78	8.33	2.78	
高輪地区(n=59)	25.42	1.69	5.08	1.69	8.47	3.39	6.78	1.69	
芝浦港南地区(n=50)	34.00	0.00	8.00	4.00	18.00	2.00	10.00	0.00	
全体(n=291)	23.02	0.69	6.87	1.72	11.68	3.09	7.22	1.72	

注：下線部は5％水準の有意確率(p.<0.05)。

ウ 世帯類型

未婚で子どもと同居していない人は、「仕事に打ち込みたいから」「趣味や娯楽を楽しみたいから」「家族を持つ責任がなく、気楽だから」と回答した割合が未婚で子どもと同居している人と比較して高い

図表 3-54 は、世帯類型と未婚理由のクロス集計の結果であり、「仕事に打ち込みたいから」「趣味や娯楽を楽しみたいから」「家族を持つ責任がなく、気楽だから」「離婚や死別の経験の傷がまだ癒えていないから」で有意な差がみられ、世帯類型によって異なる傾向が示されている。

癒えていないから」「その他」で有意な差が示されている。

「仕事に打ち込みたいから」をみると、「未婚・子なし」が21.24%、「未婚・子あり」は6.25%となっている。

「趣味や娯楽を楽しみたいから」をみると、「未婚・子なし」が27.80%、「未婚・子あり」は3.13%となっている。

「家族を持つ責任がなく、気楽だから」をみると、「未婚・子なし」が24.71%、「未婚・子あり」は0%となっている。

「離婚や死別の経験の傷がまだ癒えていないから」をみると、「未婚・子なし」が1.93%、「未婚・子あり」は12.50%となっている。

「その他」をみると、「未婚・子なし」が5.79%、「未婚・子あり」は18.75%となっている。

図表 3-54 世帯類型別未婚理由 (%)

	仕事に打ち込みた いから	趣味や娯楽を楽し みたいから	家族を持つ責任が なく、気楽だから	結婚する必要性を まだ感じないから	結婚生活のための 住居のめどが立た ないから	適当な相手にめぐ りあわないから	他者とうまく付き 合えないから	パートナーとの交 際が自由だから	結婚資金が足りな いから	
未婚・子なし(n=259)	21.24	27.80	24.71	31.66	3.86	51.74	10.81	7.34		11.58
未婚・子あり(n=32)	6.25	3.13	0.00	37.50	3.13	43.75	9.38	9.38		3.13
全体(n=291)	19.59	25.09	21.99	32.30	3.78	50.86	10.65	7.56		10.65
	独身で生活できる だけの経済力がある から	親の承諾が得られ ないから	交際相手・パート ナーに結婚する気 がないから	同性のパートナー と結婚する制度が 整っていないから	夫婦別姓に関する 制度が整っていない から	離婚や死別の経験 の傷がまだ癒えて いないから	その他	結婚を予定してい る		
未婚・子なし(n=259)	23.94	0.77	7.34	1.93	11.58	1.93	5.79	1.54		
未婚・子あり(n=32)	15.63	0.00	3.13	0.00	12.50	12.50	18.75	3.13		
全体(n=291)	23.02	0.69	6.87	1.72	11.68	3.09	7.22	1.72		

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

エ 世帯所得

- ・「結婚資金が足りないから」「独身で生活できるだけの経済力があるから」で有意な差がみられた
- ・低所得者層は結婚資金の不足を、高所得者層は独身で生活できるだけの経済力の高さを未婚理由とする割合が高い

図表 3-55 は、世帯所得と未婚理由のクロス集計の結果であり、「結婚資金が足りないから」「独身で生活できるだけの経済力があるから」で有意な差が示されている。

「結婚資金が足りないから」をみると、「第一・五分位」が17.86%と最大の値を示し、次いで「第二・五分位」は8.33%、「第五・五分位」は6.25%、「第四・五分位」は3.33%、「第三・五分位」は2.27%となっている。

「独身で生活できるだけの経済力があるから」をみると、「第五・五分位」が43.75%と最大の値を示し、次いで「第三・五分位」は38.64%、「第四・五分位」は33.33%、「第二・五分位」は23.33%、「第一・五分位」は11.90%となっている。

図表 3-55 世帯所得別未婚理由 (%)

	仕事に打ち込みたいから	趣味や娯楽を楽しみたいから	家族を持つ責任がなく、気楽だから	結婚する必要性をまだ感じないから	結婚生活のための住居のめどが立たないから	適当な相手にめぐりあわないから	他者とうまく付き合えないから	パートナーとの交際が自由だから	結婚資金が足りないから
第一・五分位 (n=84)	17.86	26.19	25.00	30.95	5.95	51.19	14.29	9.52	17.86
第二・五分位 (n=60)	18.33	28.33	26.67	40.00	3.33	53.33	10.00	6.67	8.33
第三・五分位 (n=44)	15.91	22.73	9.09	29.55	0.00	56.82	11.36	2.27	2.27
第四・五分位 (n=30)	23.33	13.33	16.67	20.00	0.00	43.33	3.33	13.33	3.33
第五・五分位 (n=16)	12.50	12.50	31.25	31.25	0.00	43.75	6.25	0.00	6.25
全体 (n=234)	17.95	23.50	21.79	31.62	2.99	51.28	10.68	7.26	9.83

	独身で生活できるだけの経済力があるから	親の承諾が得られないから	交際相手・パートナーに結婚する気がないから	同性のパートナーと結婚する制度が整っていないから	夫婦別姓に関する制度が整っていないから	離婚や死別の経験の傷がまだ癒えていないから	その他	結婚を予定している
第一・五分位 (n=84)	11.90	1.19	8.33	2.38	11.90	5.95	9.52	0.00
第二・五分位 (n=60)	23.33	0.00	5.00	0.00	6.67	3.33	1.67	3.33
第三・五分位 (n=44)	38.64	0.00	9.09	2.27	11.36	4.55	4.55	0.00
第四・五分位 (n=30)	33.33	0.00	3.33	0.00	23.33	0.00	6.67	6.67
第五・五分位 (n=16)	43.75	0.00	12.50	0.00	18.75	0.00	0.00	6.25
全体 (n=234)	24.79	0.43	7.26	1.28	12.39	3.85	5.56	2.14

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

5 区の子育て関連支援制度やサービスに対する評価

(1) 子育て関連支援制度やサービスの認知と利用の有無

■単純集計

- ・「港区子育て応援商品券の配付」「出産費用助成」「コミュニティバスの乗車券の発行」の認知度及び利用率が高い
- ・現在子どもと同居している人の結果をみると、「乳幼児一時預かり事業等」「派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）」や「乳幼児等ショートステイ事業」の一時預かり等の事業は、認知はされているが利用率が低い

図表 3-56 は、子育て関連支援制度やサービスの認知と利用の有無の単純集計の結果である。

「知っており、利用している（利用していた）」をみると、「港区子育て応援商品券の配付」が44.55%と最大の値を示し、次いで「出産費用助成」は43.84%、「コミュニティバスの乗車券の発行」は38.63%となっている。

また、「知っているが、利用していない（利用しなかった）」をみると、「派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）」が40.88%と最大の値を示し、次いで「乳幼児等ショートステイ事業」は38.74%、「乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業（スポット利用）」は34.24%となっている。

図表 3-56 子育て関連支援制度やサービスの認知と利用の有無（％）（n=844）（SA）

	知っており、利用している（利用していた）	知っているが、利用していない（利用しなかった）	知らないし、利用していない（利用しなかった）	知らなかったが、今後利用を検討したい
乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業（スポット利用）	22.51	34.24	29.15	14.10
派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）	6.04	40.88	38.03	15.05
乳幼児等ショートステイ事業	2.25	38.74	44.19	14.81
トワイライトステイ事業	1.90	27.84	55.33	14.93
子育てひろば事業（乳幼児とその保護者が対象）	30.69	17.42	38.03	13.86
保育園であそぼう	8.29	27.61	48.46	15.64
子育てコーディネーター事業	2.13	13.98	66.71	17.18
出産・子育て応援メール配信	15.05	11.02	59.95	13.98
みなと母子手帳アプリ	21.56	14.93	49.76	13.74
産後宿泊型ショートステイ	2.49	25.59	56.52	15.40
産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業	4.38	23.10	56.40	16.11
産前産後家事・育児支援事業	7.46	28.91	48.10	15.52
児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）	37.09	19.43	28.55	14.93
出産費用助成	43.84	22.63	22.75	10.78
コミュニティバス乗車券の発行	38.63	16.23	32.11	13.03
港区子育て応援商品券の配付	44.55	15.52	39.93	—
その他	15.70	84.30	0.00	0.00

注：「その他」のみ n=223。

また、子どもと同居している人に限定した結果を図表 3-57 に示す。

「知っており、利用している（利用していた）」と回答した割合をみると、「出産費用助成」が 82.39%と最大の値を示し、次いで「港区子育て応援商品券の配付」は 80.14%、「コミュニティバス乗車券の発行」は 66.37%となっている。

「知っているが、利用していない（利用しなかった）」をみると、「派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）」が 66.14%と最大の値を示し、次いで「乳幼児等ショートステイ事業」は 64.56%、「トワイライトステイ事業」は 48.53%となっている。

図表 3-57 子どもと同居している人の、子育て関連支援制度やサービスの認知と利用の有無（％）（n=443）（SA）

	知っており、利用している（利用していた）	知っているが、利用していない（利用しなかった）	知らないし、利用していない（利用しなかった）	知らなかったが、今後利用を検討したい
乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業（スポット利用）	42.44	47.40	8.80	1.35
派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）	11.51	66.14	18.74	3.61
乳幼児等ショートステイ事業	4.29	64.56	28.44	2.71
トワイライトステイ事業	3.61	48.53	44.70	3.16
子育てひろば事業（乳幼児とその保護者が対象）	58.24	23.48	17.61	0.68
保育園であそぼう	15.80	46.95	34.54	2.71
子育てコーディネーター事業	4.06	22.80	67.72	5.42
出産・子育て応援メール配信	27.31	16.48	54.85	1.35
みなと母子手帳アプリ	37.02	18.06	43.12	1.81
産後宿泊型ショートステイ	4.74	38.15	53.50	3.61
産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業	8.35	35.21	52.82	3.61
産前産後家事・育児支援事業	14.22	45.15	37.70	2.93
児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）	64.79	19.41	11.29	4.51
出産費用助成	82.39	10.38	7.22	0.00
コミュニティバス乗車券の発行	66.37	17.16	14.90	1.58
港区子育て応援商品券の配付	80.14	5.64	14.22	—
その他	32.67	67.33	0.00	0.00

注：「その他」のみ n=101。

■クロス集計

ア 年齢

- ・全ての事業で年齢別に有意な差がみられた
- ・30歳代は、多くの事業において「知らないし、利用していない（利用しなかった）」と回答した割合が低い

図表 3-58 は、年齢と子育て関連支援制度やサービスの認知と利用の有無のクロス集計の結果であり、全ての項目で有意な差が示されている。

「(イ) 乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業（スポット利用）」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「20-29 歳」が 38.36%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 32.95%、「45-50 歳」は 29.41%、「30-34 歳」は 23.84%、「35-39 歳」は 22.89%となっている。

「(ロ) 派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「20-29 歳」が 51.37%と最大の値を示し、次いで「30-34 歳」は 36.42%、「45-50 歳」は 35.88%、「40-44 歳」は 34.66%、「35-39 歳」は 34.33%となっている。

「(ハ) 乳幼児等ショートステイ事業」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「20-29 歳」が 52.05%と最大の値を示し、次いで「45-50 歳」は 48.24%、「40-44 歳」は 46.59%、「35-39 歳」は 39.30%、「30-34 歳」は 35.76%となっている。

「(ニ) トワイライトステイ事業」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「45-50 歳」が 59.41%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 57.95%、「20-29 歳」は 54.79%、「30-34 歳」は 52.32%、「35-39 歳」は 52.24%となっている。

「(ホ) 子育てひろば事業（乳幼児とその保護者が対象）」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「20-29 歳」が 47.95%と最大の値を示し、次いで「45-50 歳」は 37.65%、「35-39 歳」は 36.82%、「30-34 歳」は 35.76%、「40-44 歳」は 33.52%となっている。

「(ヘ) 保育園であそぼう」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「20-29 歳」が 52.74%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 51.70%、「45-50 歳」は 50.00%、「35-39 歳」は 45.77%、「30-34 歳」は 42.38%となっている。

「(ト) 子育てコーディネーター事業」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「45-50 歳」が 80.59%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 72.73%、「35-39 歳」は 66.17%、「30-34 歳」は 58.94%、「20-29 歳」は 52.05%となっている。

「(チ) 出産・子育て応援メール配信」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「45-50 歳」が 83.53%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 63.07%、「35-39 歳」は 52.74%、「20-29 歳」は 52.05%、「30-34 歳」は 47.02%となっている。

「(リ) みなと母子手帳アプリ」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「45-50 歳」が 78.24%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 57.39%、「35-39 歳」は 40.80%、「20-29 歳」は 39.73%、「30-34 歳」は 30.46%となっている。

「(ヌ) 産後宿泊型ショートステイ」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「45-50 歳」が 83.53%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 61.36%、「35-39 歳」は 51.24%、「20-29 歳」は 47.26%、「30-34 歳」は 36.42%となっている。

「(ル) 産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「45-50 歳」が 77.65%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 63.64%、「35-39 歳」は 51.24%、「20-29 歳」は 47.95%、「30-34 歳」は 39.07%となっている。

「(ヲ) 産前産後家事・育児支援事業」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「45-50 歳」が 67.06%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は 47.16%、「20-29 歳」は 46.58%、「35-39 歳」は 45.27%、「30-34 歳」は 33.11%となっている。

「(ワ) 児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「20-29 歳」が 35.62%と最大の値を示し、次いで「30-34 歳」は 32.45%、「35-39 歳」は 26.87%、「40-44 歳」は 25.57%、「45-50 歳」は 24.12%となっている。

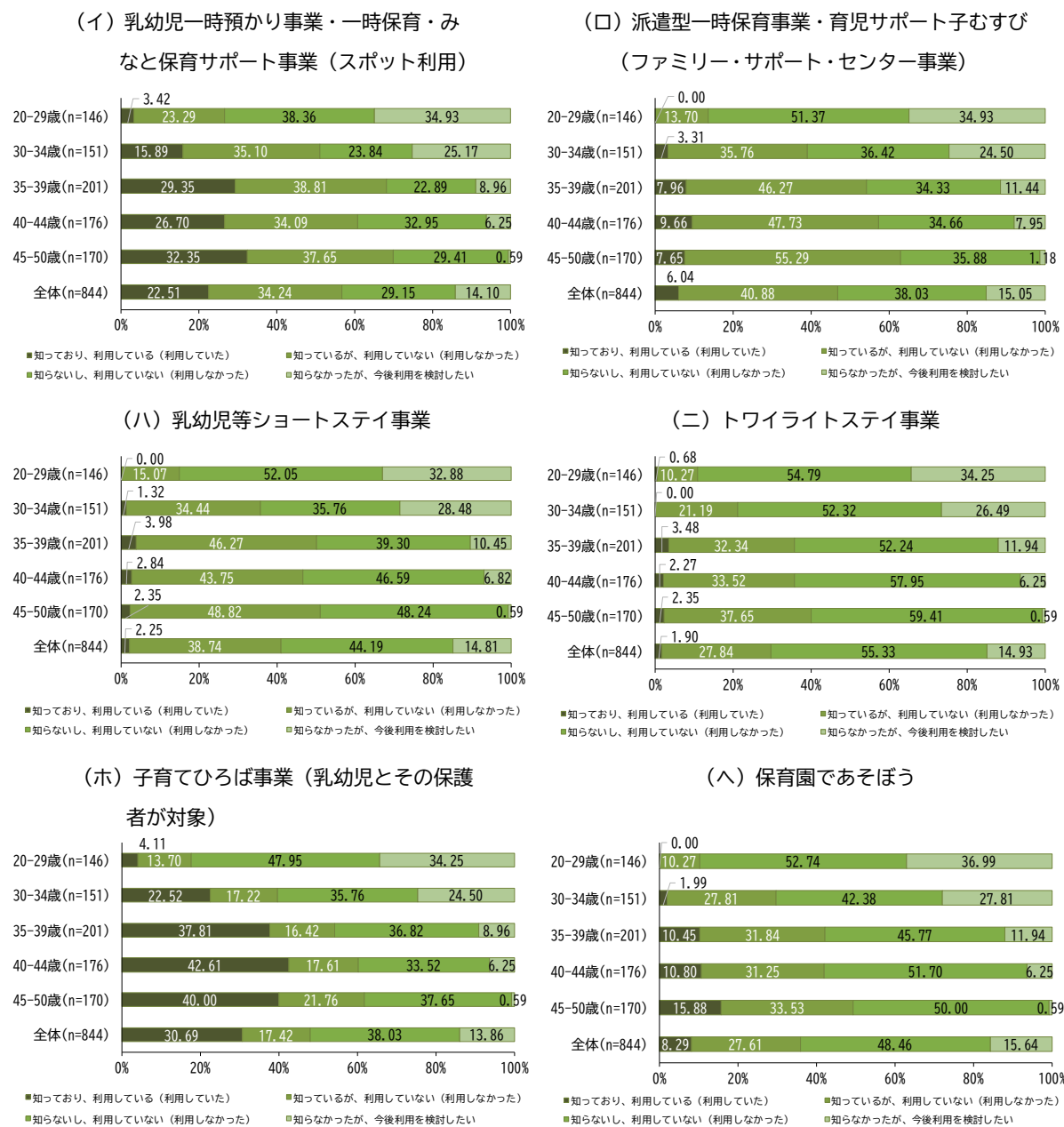
「(カ) 出産費用助成」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「20-29 歳」が 32.88%と最大の値を示し、次いで「45-50 歳」は 24.12%、「35-39 歳」は 21.39%、「40-44 歳」は 19.89%、「30-34 歳」は 16.56%となっている。

「(ヨ) コミュニティバス乗車券の発行」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「45-50 歳」が 38.82%と最大の値を示し、次いで「20-29 歳」は 38.36%、「40-44 歳」は 32.95%、「35-39 歳」は 27.86%、「30-34 歳」は 23.18%となっている。

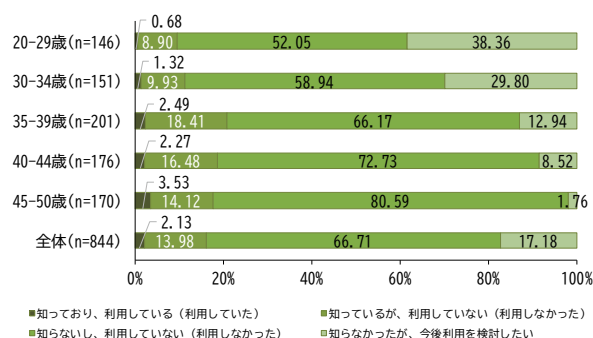
「(タ) 港区子育て応援商品券の配付」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「20-29 歳」が 60.96%と最大の値を示し、次いで「30-34 歳」は 41.06%、「40-44

歳」は 34.66%、「45-50 歳」は 34.12%、「35-39 歳」は 33.33%となっている。

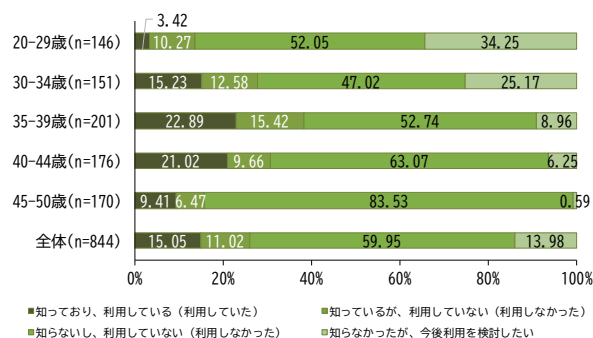
図表 3-58 年齢別子育て関連支援制度やサービスの認知と利用の有無



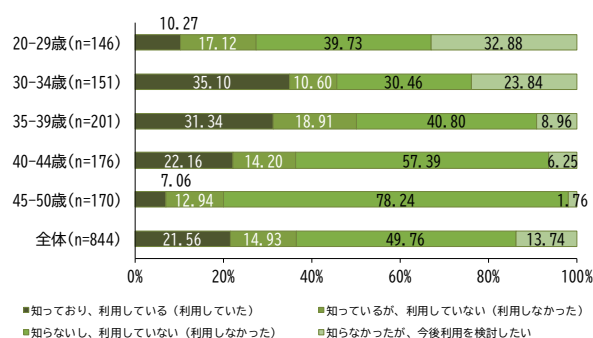
(ト) 子育てコーディネーター事業



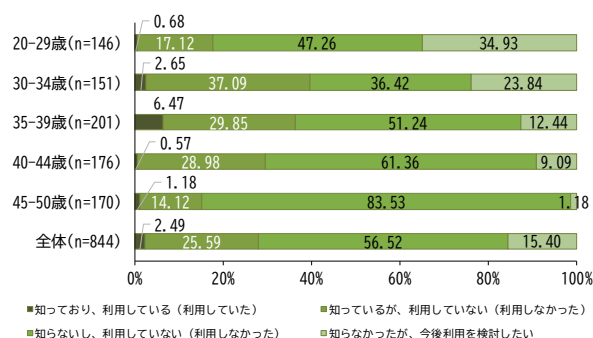
(チ) 出産・子育て応援メール配信



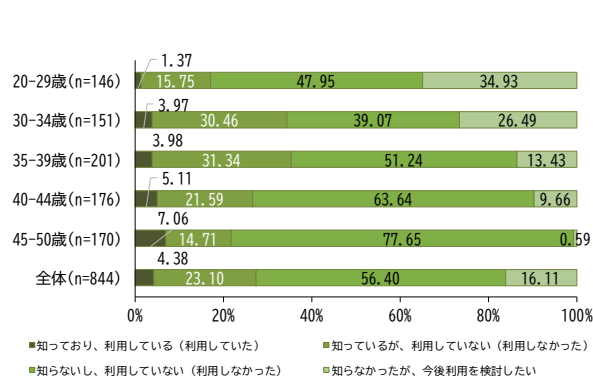
(リ) みなと母子手帳アプリ



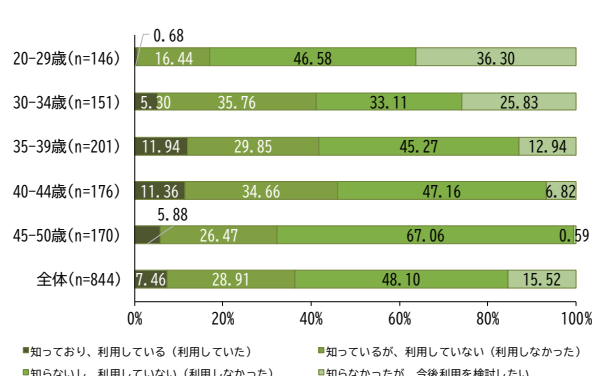
(ヌ) 産後宿泊型ショートステイ



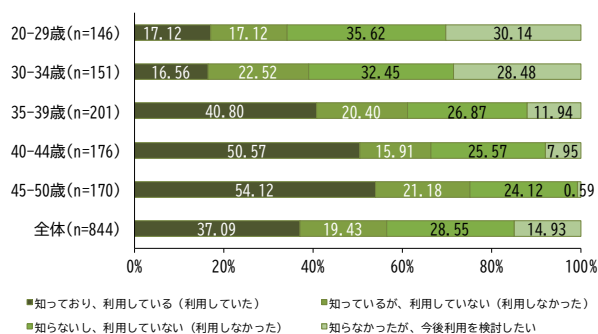
(ル) 産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業



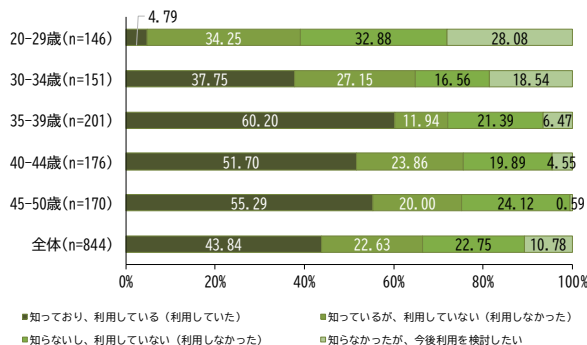
(ロ) 産前産後家事・育児支援事業



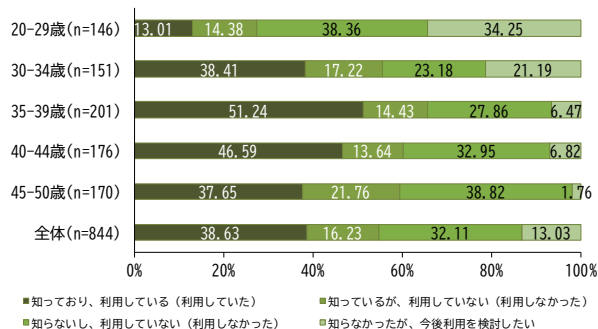
(フ) 児童館、飯倉学童クラブ、子ども中
高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、
子どもふれあいルームの一般来館（小
学生以上が対象）



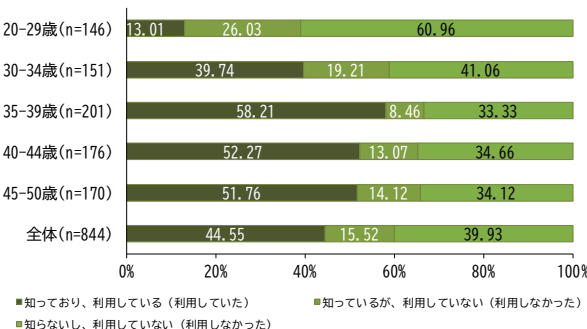
(力) 出産費用助成



(ヨ) コミュニティバス乗車券の発行



(タ) 港区子育て応援商品券の配付



イ 居住地区

芝浦港南地区は、有意な差がみられた多くの事業において「知らないし、利用していない（利用しなかった）」と回答した割合が低い

図表3-59は、居住地区と子育て関連支援制度やサービスの認知と利用の有無のクロス集計の結果であり、「乳幼児等ショートステイ事業」「子育てひろば事業（乳幼児とその保護者が対象）」「保育園であそぼう」「産後宿泊型ショートステイ」「産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業」「産前産後家事・育児支援事業」「児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）」「コミュニティバス乗車券の発行」「港区子育て応援商品券の配付」で有意な差が示されている。

「(イ) 乳幼児等ショートステイ事業」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「赤坂地区」が50.44%と最大の値を示し、次いで「麻布地区」は47.27%、「芝地区」は43.53%、「高輪地区」は42.55%、「芝浦港南地区」は40.38%となっている。

「(ロ) 子育てひろば事業（乳幼児とその保護者が対象）」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「芝地区」が43.53%と最大の値を示し、次いで「麻布地区」は41.82%、「赤坂地区」は39.82%、「高輪地区」は35.64%、「芝浦港南地区」は31.73%となっている。

「(ハ) 保育園であそぼう」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、

「芝地区」が54.71%と最大の値を示し、次いで「麻布地区」は50.30%、「高輪地区」は49.47%、「赤坂地区」は45.13%、「芝浦港南地区」は42.79%となっている。

「(ニ) 産後宿泊型ショートステイ」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「赤坂地区」が62.83%と最大の値を示し、次いで「高輪地区」は60.11%、「麻布地区」は56.97%、「芝地区」は55.88%、「芝浦港南地区」は50.00%となっている。

「(ホ) 産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「麻布地区」が60.61%と最大の値を示し、次いで「高輪地区」は58.51%、「赤坂地区」は57.52%、「芝地区」は54.71%、「芝浦港南地区」は51.92%となっている。

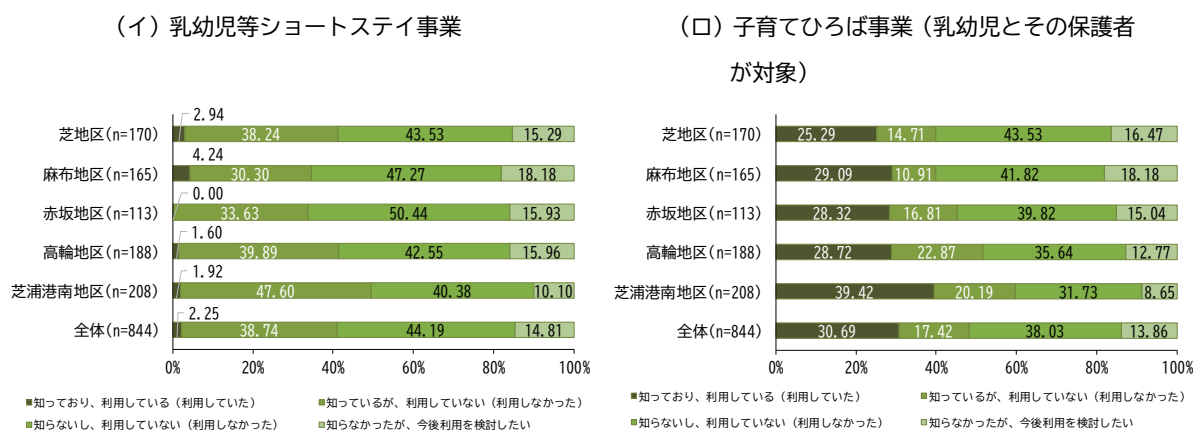
「(ヘ) 産前産後家事・育児支援事業」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「麻布地区」が51.52%と最大の値を示し、次いで「芝地区」は48.82%、「高輪地区」は48.40%、「赤坂地区」は47.79%、「芝浦港南地区」は44.71%となっている。

「(ト) 児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「芝地区」が35.29%と最大の値を示し、次いで「麻布地区」は32.73%、「芝浦港南地区」は27.88%、「高輪地区」は23.40%、「赤坂地区」は22.12%となっている。

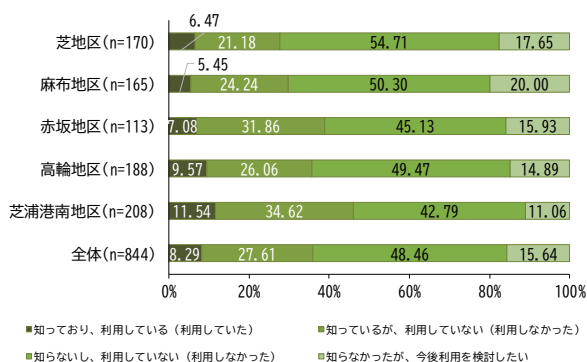
「(チ) コミュニティバス乗車券の発行」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「麻布地区」が36.97%と最大の値を示し、次いで「赤坂地区」は34.51%、「芝地区」は34.12%、「高輪地区」は34.04%、「芝浦港南地区」は23.56%となっている。

「(リ) 港区子育て応援商品券の配付」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「麻布地区」が47.88%と最大の値を示し、「芝地区」は45.29%、「赤坂地区」は39.82%、「高輪地区」は38.30%、「芝浦港南地区」は30.77%となっている。

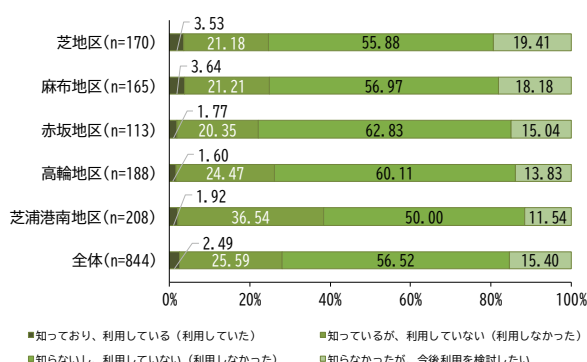
図表 3-59 居住地区別子育て関連支援制度やサービスの認知と利用の有無



(ハ) 保育園であそぼう

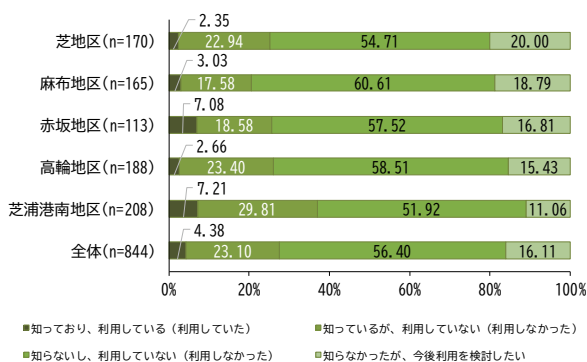


(二) 産後宿泊型ショートステイ

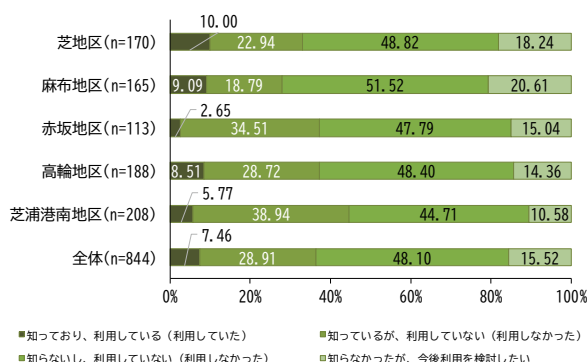


(ホ) 産後母子ケアデイサービス・乳房

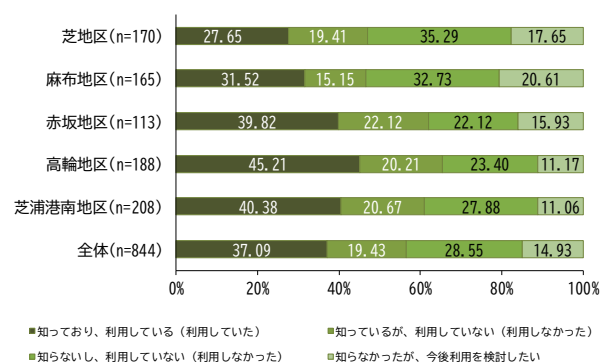
ケア事業



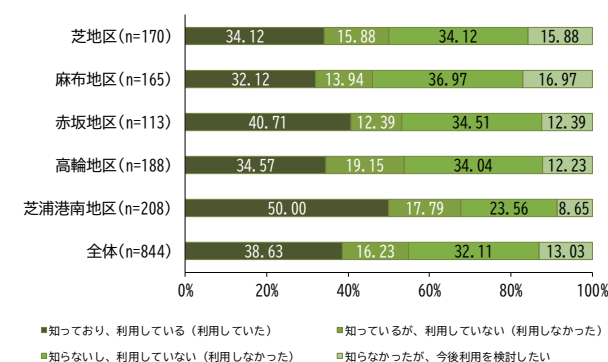
(ヘ) 産前産後家事・育児支援事業



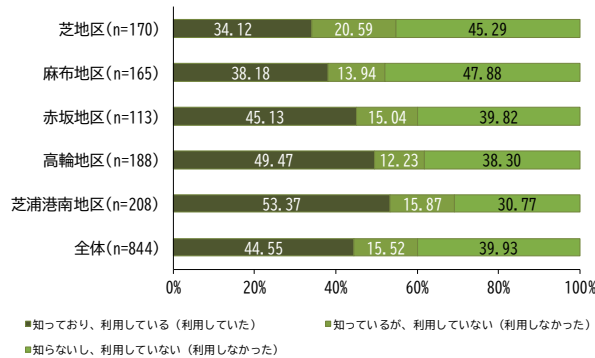
(ト) 児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館 (小学生以上が対象)



(チ) コミュニティバス乗車券の発行



(リ) 港区子育て応援商品券の配付



ウ 世帯類型

- ・全ての事業で世帯類型別に有意な差がみられた
- ・既婚で末子が6歳未満の人をみると、「子育てコーディネーター事業」の認知度が低く、「派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）」と「乳幼児等ショートステイ事業」において、「知っているが、利用していない」と回答した割合が高い

図表3-60は、世帯類型と子育て関連支援制度やサービスの認知と利用の有無のクロス集計の結果であり、全ての項目で有意な差が示されている。

「(イ) 乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業（スポット利用）」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「未婚・子なし」が56.37%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は42.96%、「未婚・子あり」は15.63%、「既婚・末子6-17歳」は12.96%、「既婚・末子6歳未満」は4.94%となっている。

「(ロ) 派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「未婚・子なし」が64.86%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は49.30%、「既婚・末子6-17歳」は19.75%、「既婚・末子6歳未満」は18.93%、「未婚・子あり」は15.63%となっている。

「(ハ) 乳幼児等ショートステイ事業」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「未婚・子なし」が67.18%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は51.41%、「既婚・末子6-17歳」は35.80%、「未婚・子あり」は28.13%、「既婚・末子6歳未満」は23.05%となっている。

「(ニ) トワイライトステイ事業」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「未婚・子なし」が71.43%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は59.15%、「既婚・末子6-17歳」は50.00%、「既婚・末子6歳未満」は41.56%、「未婚・子あり」は31.25%となっている。

「(ホ) 子育てひろば事業（乳幼児とその保護者が対象）」について、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「未婚・子なし」が65.25%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は52.11%、「既婚・末子6-17歳」は19.14%、「既婚・末子6歳未満」は17.28%、「未婚・子あり」は12.50%となっている。

「(ヘ) 保育園であそぼう」について、「知らないし、利用していない(利用しなかった)」をみると、「未婚・子なし」が67.95%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は56.34%、「未婚・子あり」は43.75%、「既婚・末子6-17歳」は37.04%、「既婚・末子6歳未満」は32.10%となっている。

「(ト) 子育てコーディネーター事業」について、「知らないし、利用していない(利用しなかった)」をみると、「未婚・子あり」が78.13%と最大の値を示し、次いで「既婚・末子6-17歳」は74.69%、「未婚・子なし」は70.66%、「既婚・末子6歳未満」は60.91%、「既婚・子なし」は56.34%となっている。

「(チ) 出産・子育て応援メール配信」について、「知らないし、利用していない(利用しなかった)」をみると、「既婚・末子6-17歳」が75.31%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は75.00%、「未婚・子なし」は71.81%、「既婚・子なし」は54.23%、「既婚・末子6歳未満」は37.45%となっている。

「(リ) みなと母子手帳アプリ」について、「知らないし、利用していない(利用しなかった)」をみると、「既婚・末子6-17歳」が79.01%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は75.00%、「未婚・子なし」は64.86%、「既婚・子なし」は42.96%、「既婚・末子6歳未満」は13.58%となっている。

「(ヌ) 産後宿泊型ショートステイ」について、「知らないし、利用していない(利用しなかった)」をみると、「既婚・末子6-17歳」が80.25%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は75.00%、「未婚・子なし」は66.41%、「既婚・子なし」は47.89%、「既婚・末子6歳未満」は31.69%となっている。

「(ル) 産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業」について、「知らないし、利用していない(利用しなかった)」をみると、「未婚・子あり」が78.13%と最大の値を示し、次いで「既婚・末子6-17歳」は69.75%、「未婚・子なし」は65.25%、「既婚・子なし」は51.41%、「既婚・末子6歳未満」は37.04%となっている。

「(ヲ) 産前産後家事・育児支援事業」について、「知らないし、利用していない(利用しなかった)」をみると、「未婚・子なし」が66.02%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は62.50%、「既婚・末子6-17歳」は59.26%、「既婚・子なし」は47.89%、「既婚・末子6歳未満」は19.34%となっている。

「(ワ) 児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館(小学生以上が対象)」について、「知らないし、利用していない(利用しなかった)」をみると、「未婚・子なし」が50.58%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は42.25%、「既婚・末子6歳未満」は14.40%、「既婚・末子6-17歳」は7.41%、「未婚・子あり」は3.13%となっている。

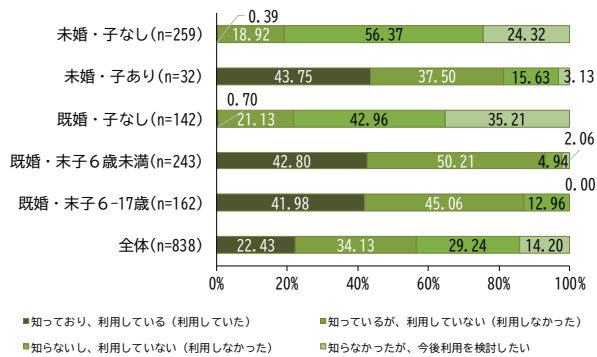
「(カ) 出産費用助成」について、「知らないし、利用していない(利用しなかった)」をみると、「未婚・子なし」が47.88%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は25.35%、「既婚・末子6-17歳」は12.35%、「未婚・子あり」は9.38%、「既婚・末子6歳未満」は2.88%となっている。

「(ヨ) コミュニティバス乗車券の発行」について、「知らないし、利用していない(利用しなかった)」をみると、「未婚・子なし」が58.30%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は38.03%、「既婚・末子6-17歳」は26.54%、「未婚・子あり」は21.88%、「既婚・末子6歳未満」は4.12%となっている。

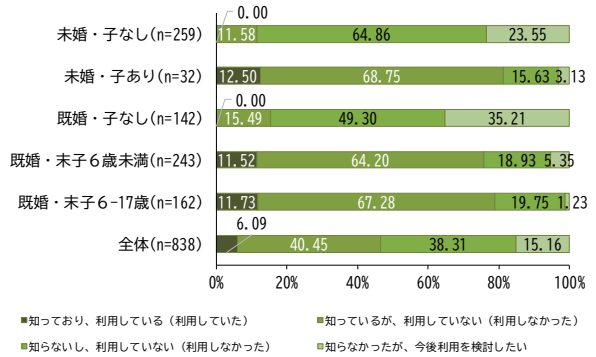
「(タ) 港区子育て応援商品券の配付」について、「知らないし、利用していない(利用しなかった)」をみると、「未婚・子なし」が71.43%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は62.68%、「既婚・末子6-17歳」は25.31%、「未婚・子あり」は9.38%、「既婚・末子6歳未満」は6.17%となっている。

図表 3-60 世帯類型別子育て関連支援制度やサービスの認知と利用の有無

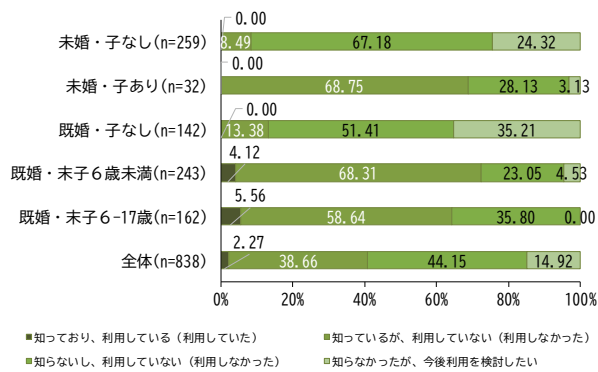
(イ) 乳幼児一時預かり事業・一時保育・み
なと保育サポート事業（スポット利用）



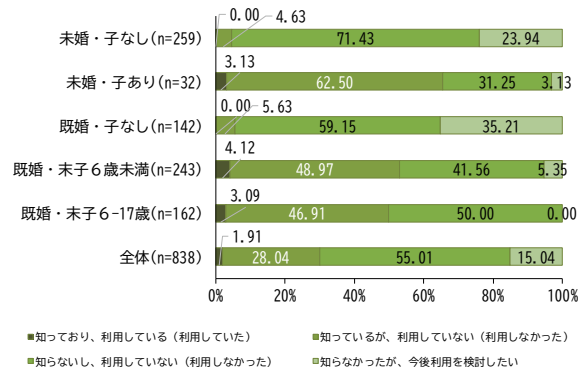
(ロ) 派遣型一時保育事業・育児サポート子む
すび（ファミリー・サポート・センター事業）



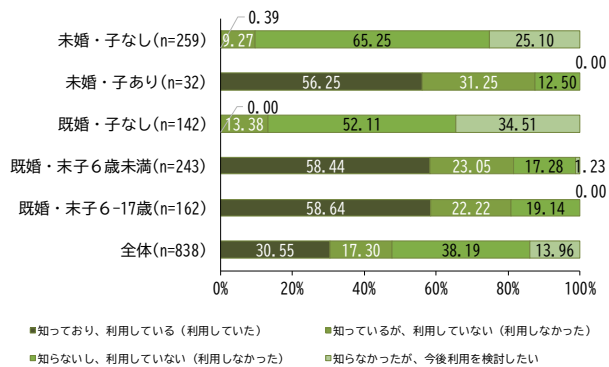
(ハ) 乳幼児等ショートステイ事業



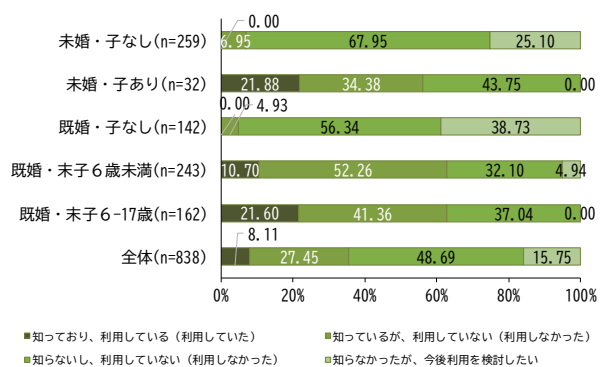
(ニ) トワイライトステイ事業



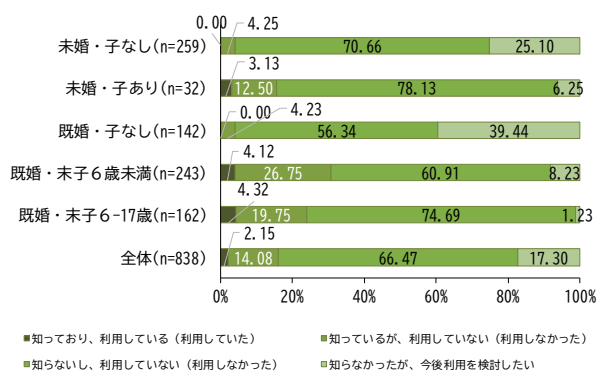
(ホ) 子育てひろば事業（乳幼児とその保護
者が対象）



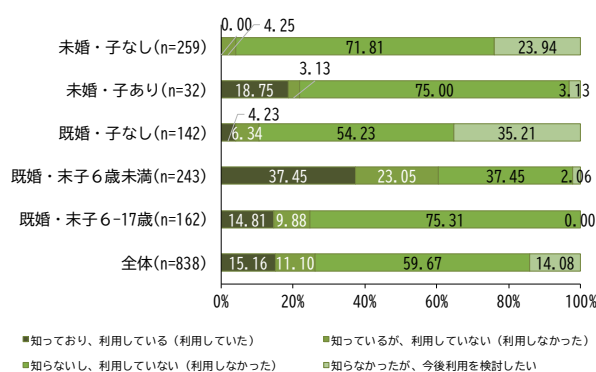
(ヘ) 保育園であそぼう



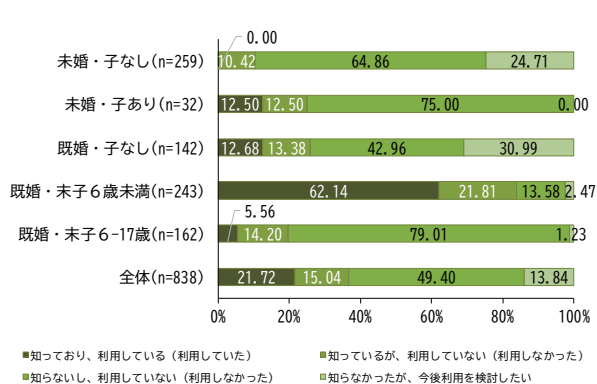
(ト) 子育てコーディネーター事業



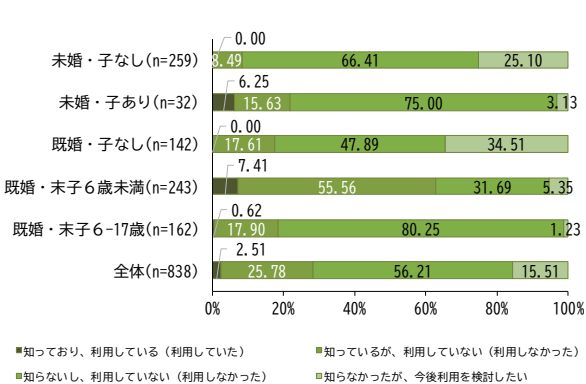
(チ) 出産・子育て応援メール配信



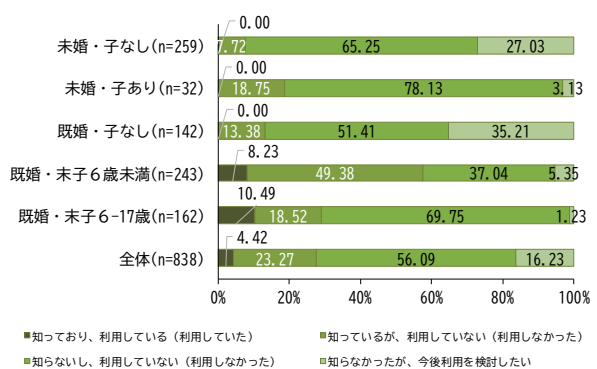
(リ) みなと母子手帳アプリ



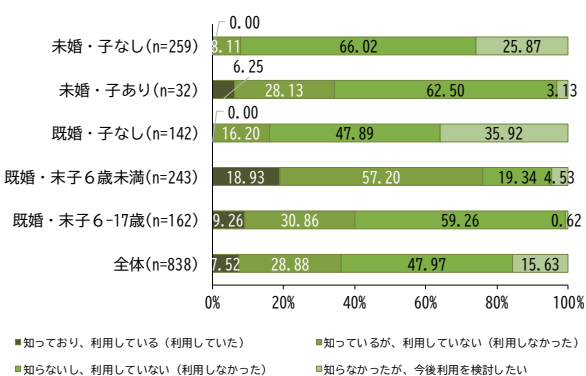
(ヌ) 産後宿泊型ショートステイ



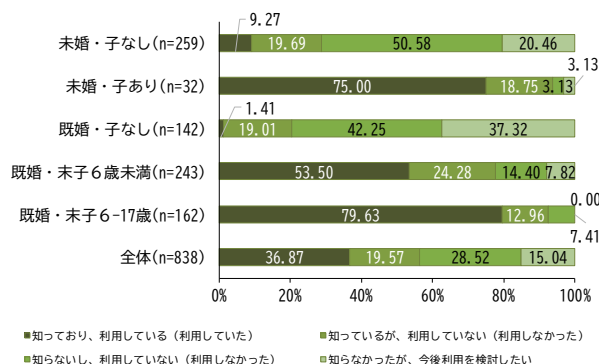
(ル) 産後母子ケアデイスサービス・乳房ケア事業



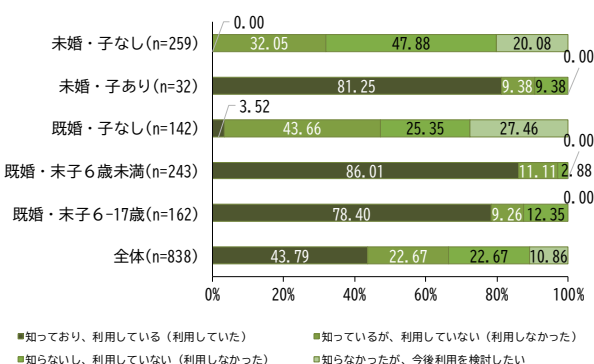
(ヲ) 産前産後家事・育児支援事業



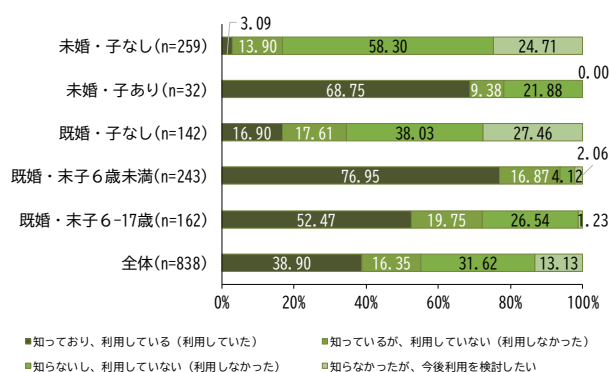
(ワ) 児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）



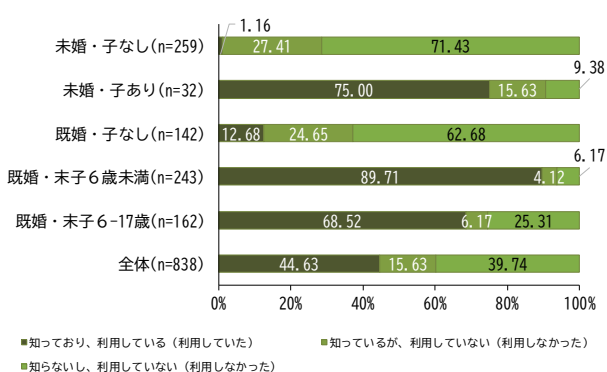
(カ) 出産費用助成



(コ) コミュニティバス乗車券の発行



(ク) 港区子育て応援商品券の配付



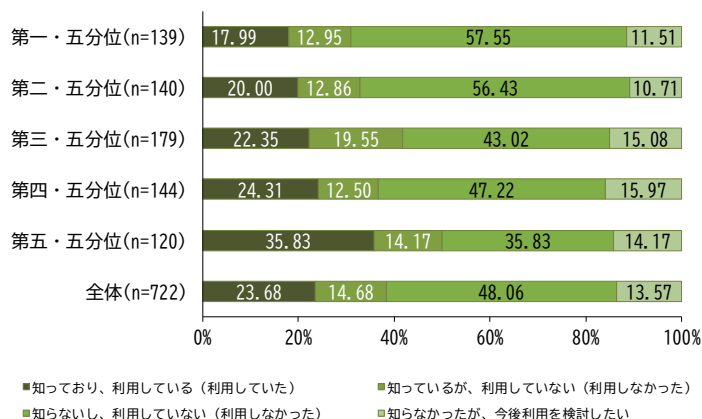
エ 世帯所得

多くの事業において所得別に有意な差はみられないが、「みなと母子手帳アプリ」はおおむね所得が高い世帯ほど「知らないし、利用していない（利用しなかった）」と回答した割合が低く、利用率が高い

図表3-61は、世帯所得と子育て関連支援制度やサービスの認知と利用の有無のクロス集計の結果であり、「みなと母子手帳アプリ」で有意な差が示されている。

「みなと母子手帳アプリ」をみると、「知らないし、利用していない（利用しなかった）」をみると、「第一・五分位」が57.55%と最大の値を示し、次いで「第二・五分位」は56.43%、「第四・五分位」は47.22%、「第三・五分位」は43.02%、「第五・五分位」は35.83%となっている。

また、「知っている、利用している（利用していた）」をみると、「第五・五分位」が35.83%と最大の値を示し、次いで「第四・五分位」は24.31%、「第三・五分位」は22.35%、「第二・五分位」は20.00%、「第一・五分位」は17.99%となっている。

図表 3-61 世帯所得別子育て関連支援制度やサービスの認知と利用の有無
みなと母子手帳アプリ

(2) 子育て関連支援制度やサービスの満足度

■単純集計

「みなと母子手帳アプリ」「派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび(ファミリー・サポート・センター事業)」「産前産後家事・育児支援事業」の満足度が他事業と比較して低い

図表 3-62 は、子育て関連支援制度やサービスの満足度の単純集計の結果である。

「不満」又は「やや不満」と回答した割合の合計をみると、「みなと母子手帳アプリ」が 20.33% (15.93+4.40) と最大の値を示し、次いで「派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび(ファミリー・サポート・センター事業)」は 19.61% (13.73+5.88)、「産前産後家事・育児支援事業」は 9.52% (9.52+0.00) となっている。

図表 3-62 子育て関連支援制度やサービスの満足度 (%) (SA)

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業(スポット利用)(n=190)	43.68	38.95	8.95	4.74	3.68
派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび(ファミリー・サポート・センター事業)(n=51)	29.41	35.29	15.69	13.73	5.88
乳幼児等ショートステイ事業(n=19)	36.84	26.32	36.84	0.00	0.00
トワイライトステイ事業(n=16)	81.25	18.75	0.00	0.00	0.00
子育てひろば事業(乳幼児とその保護者が対象)(n=259)	60.62	30.89	6.56	1.54	0.39
保育園であそぼう(n=70)	47.14	35.71	12.86	2.86	1.43
子育てコーディネーター事業(n=18)	33.33	44.44	16.67	5.56	0.00
出産・子育て応援メール配信(n=127)	40.16	33.86	21.26	2.36	2.36
みなと母子手帳アプリ(n=182)	26.92	32.42	20.33	15.93	4.40
産後宿泊型ショートステイ(n=21)	76.19	14.29	4.76	0.00	4.76
産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業(n=37)	59.46	24.32	8.11	5.41	2.70
産前産後家事・育児支援事業(n=63)	46.03	36.51	7.94	9.52	0.00
児童館、飯倉児童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館(小学生以上が対象)(n=313)	56.55	32.59	8.63	2.24	0.00
出産費用助成(n=370)	57.30	27.03	8.92	5.14	1.62
コミュニティバス乗車券の発行(n=326)	62.58	24.54	6.13	4.91	1.84
港区子育て応援商品券の配付(n=376)	73.94	18.88	2.66	3.19	1.33

また、子どもと同居している人に限定した結果を図表3-63に示す。

「不満」又は「やや不満」と回答した割合の合計をみると、「みなと母子手帳アプリ」が20.12% (15.24+4.88)と最大の値を示し、次いで「派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび(ファミリー・サポート・センター事業)」は19.61% (13.73+5.88)、「産前産後家事・育児支援事業」は9.52% (9.52+0.00)となっている。

図表3-63 子どもと同居している人の、子育て関連支援制度やサービスの満足度(%) (SA)

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業(スポット利用)(n=188)	44.15	38.83	8.51	4.79	3.72
派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび(ファミリー・サポート・センター事業)(n=51)	29.41	35.29	15.69	13.73	5.88
乳幼児等ショートステイ事業(n=19)	36.84	26.32	36.84	0.00	0.00
トワイライトステイ事業(n=16)	81.25	18.75	0.00	0.00	0.00
子育てひろば事業(乳幼児とその保護者が対象)(n=258)	60.85	30.62	6.59	1.55	0.39
保育園であそぼう(n=70)	47.14	35.71	12.86	2.86	1.43
子育てコーディネーター事業(n=18)	33.33	44.44	16.67	5.56	0.00
出産・子育て応援メール配信(n=121)	39.67	33.88	22.31	1.65	2.48
みなと母子手帳アプリ(n=164)	28.66	29.88	21.34	15.24	4.88
産後宿泊型ショートステイ(n=21)	76.19	14.29	4.76	0.00	4.76
産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業(n=37)	59.46	24.32	8.11	5.41	2.70
産前産後家事・育児支援事業(n=63)	46.03	36.51	7.94	9.52	0.00
児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館(小学生以上が対象)(n=287)	57.49	32.06	8.01	2.44	0.00
出産費用助成(n=365)	57.53	27.12	8.49	5.21	1.64
コミュニティバス乗車券の発行(n=294)	61.56	25.17	5.78	5.44	2.04
港区子育て応援商品券の配付(n=355)	73.80	18.87	2.54	3.38	1.41

(3) 一層充実してほしい子育て支援関連サービスや助成制度

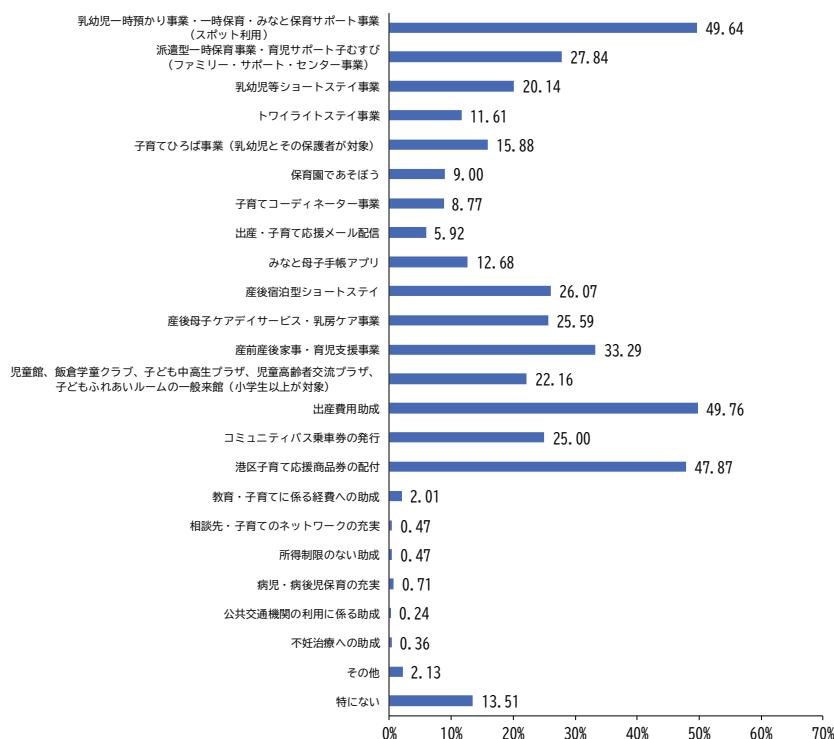
■単純集計

「港区子育て応援商品券の配付」や「出産費用助成」といった助成型事業と、「乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業(スポット利用)」といった一時預かり等の充実希望が高い

図表3-64は、一層充実してほしい子育て支援関連サービスや助成制度の単純集計の結果である。本設問は、子どもがいない人にも回答を求めている。

「出産費用助成」が49.76%と最大の値を示し、次いで「乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業(スポット利用)」は49.64%、「港区子育て応援商品券の配付」は47.87%となっている。

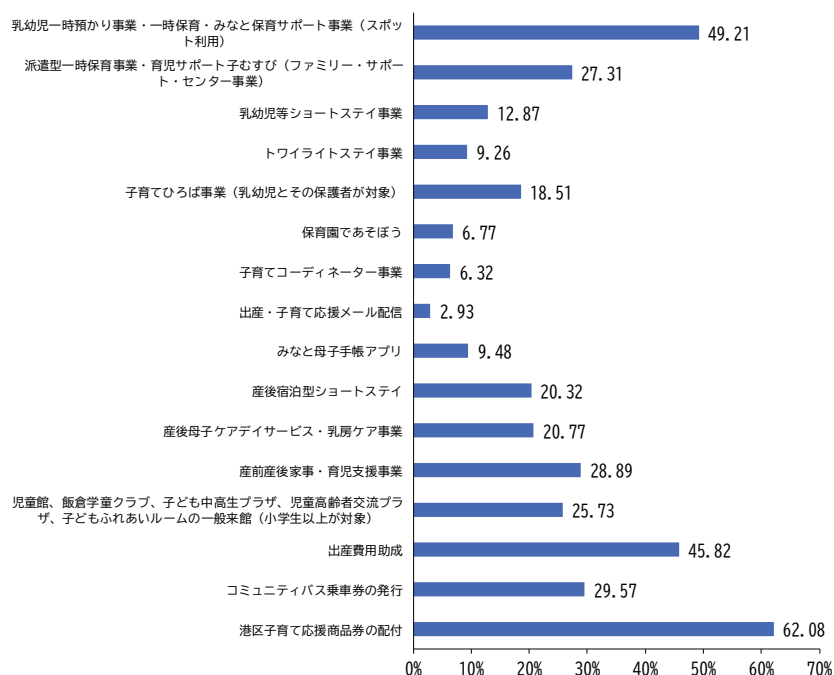
図表 3-64 一層充実してほしい子育て支援関連サービスや助成制度 (n=844) (MA)



また、子どもと同居している人に限定した結果を図表 3-65 に示す。

「港区子育て応援商品券の配付」が 62.08%と最大の値を示し、次いで「乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業 (スポット利用)」は 49.21%、「出産費用助成」は 45.82%となっている。

図表 3-65 子どもと同居している人の、一層充実してほしい子育て支援関連サービスや助成制度 (n=443) (MA)



■クロス集計

ア 年齢

有意な差がみられた事業では、「30-34 歳」の充実希望が高い事業が比較的多く、「乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業（スポット利用）」では、最も回答割合が低い「45-50 歳」との差が約3割となっている

図表3-66は、年齢と一層充実してほしい子育て支援関連サービスや助成制度のクロス集計の結果であり、「乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業（スポット利用）」「派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）」「保育園であそぼう」「みなと母子手帳アプリ」「産後宿泊型ショートステイ」「産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業」「産前産後家事・育児支援事業」「出産費用助成」「港区子育て応援商品券の配付」「特にない」で有意な差が示されている。

「乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業（スポット利用）」をみると、「30-34 歳」が62.91%と最大の値を示し、次いで「35-39 歳」は56.72%、「20-29 歳」は48.63%、「40-44 歳」は44.89%、「45-50 歳」は35.29%となっている。

「派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）」をみると、「35-39 歳」が33.83%と最大の値を示し、次いで「40-44 歳」は31.82%、「30-34 歳」は31.79%、「20-29 歳」は26.03%、「45-50 歳」は14.71%となっている。

「保育園であそぼう」をみると、「30-34 歳」が14.57%と最大の値を示し、次いで「20-29 歳」は13.01%、「35-39 歳」は7.46%、「40-44 歳」は6.25%、「45-50 歳」は5.29%となっている。

「みなと母子手帳アプリ」をみると、「20-29 歳」が21.23%と最大の値を示し、次いで「30-34 歳」は17.88%、「35-39 歳」は14.43%、「40-44 歳」は6.25%、「45-50 歳」は5.29%となっている。

「産後宿泊型ショートステイ」をみると、「30-34 歳」が36.42%と最大の値を示し、次いで「20-29 歳」は33.56%、「35-39 歳」は26.87%、「40-44 歳」は19.89%、「45-50 歳」は15.88%となっている。

「産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業」をみると、「30-34 歳」が33.11%と最大の値を示し、次いで「20-29 歳」は31.51%、「35-39 歳」は27.36%、「45-50 歳」は19.41%、「40-44 歳」は18.18%となっている。

「産前産後家事・育児支援事業」をみると、「35-39 歳」が41.29%と最大の値を示し、次いで「30-34 歳」は40.40%、「20-29 歳」は39.73%、「40-44 歳」は26.14%、「45-50 歳」は19.41%となっている。

「出産費用助成」をみると、「30-34 歳」が64.90%と最大の値を示し、次いで「20-29 歳」は60.96%、「35-39 歳」は54.23%、「40-44 歳」は36.93%、「45-50 歳」は34.71%となっている。

「港区子育て応援商品券の配付」をみると、「30-34 歳」が57.62%と最大の値を示し、次いで「35-39 歳」は51.74%、「45-50 歳」は48.82%、「40-44 歳」は43.75%、「20-29 歳」は36.30%となっている。

「特にない」をみると、「20-29 歳」が19.18%と最大の値を示し、次いで「45-50 歳」は18.82%、「40-44 歳」は15.91%、「30-34 歳」は8.61%、「35-39 歳」は6.47%となっている。

図表 3-66 年齢別一層充実してほしい子育て支援関連サービスや助成制度（％）

	乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業（スポット利用）	派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）	乳幼児等ショートステイ事業	トワイライトステイ事業	子育てひろば事業（乳幼児とその保護者が対象）	保育園であそぼう	子育てコーディネーター事業	出産・子育て応援メール配信	
20-29歳(n=146)	48.63	26.03	25.34	9.59	15.07	13.01	11.64	8.90	
30-34歳(n=151)	62.91	31.79	25.83	14.57	17.22	14.57	11.92	7.28	
35-39歳(n=201)	56.72	33.83	17.91	11.44	18.41	7.46	7.46	7.46	
40-44歳(n=176)	44.89	31.82	18.18	12.50	14.77	6.25	6.82	3.98	
45-50歳(n=170)	35.29	14.71	15.29	10.00	13.53	5.29	7.06	2.35	
全体(n=844)	49.64	27.84	20.14	11.61	15.88	9.00	8.77	5.92	
	みなと母子手帳アプリ	産後宿泊型ショートステイ	産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業	産前産後家事・育児支援事業	児童館、飯倉児童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）	出産費用助成	コミュニティバス乗車券の発行	港区子育て応援商品券の配付	
20-29歳(n=146)	21.23	33.56	31.51	39.73	24.66	60.96	25.34	36.30	
30-34歳(n=151)	17.88	36.42	33.11	40.40	19.21	64.90	25.17	57.62	
35-39歳(n=201)	14.43	26.87	27.36	41.29	23.38	54.23	27.86	51.74	
40-44歳(n=176)	6.25	19.89	18.18	26.14	19.89	36.93	22.16	43.75	
45-50歳(n=170)	5.29	15.88	19.41	19.41	23.53	34.71	24.12	48.82	
全体(n=844)	12.68	26.07	25.59	33.29	22.16	49.76	25.00	47.87	
	教育・子育てに係る経費への助成	相談先・子育てのネットワークの充実	所得制限のない助成	病児・病後児保育の充実	公共交通機関の利用に係る助成	不妊治療への助成	その他	特になし	
20-29歳(n=146)	1.37	1.37	0.68	0.00	0.00	0.00	0.68	19.18	
30-34歳(n=151)	3.31	0.00	0.66	0.00	0.00	0.00	3.31	8.61	
35-39歳(n=201)	1.49	1.00	0.00	1.49	0.50	0.50	2.49	6.47	
40-44歳(n=176)	1.14	0.00	1.14	1.70	0.57	1.14	0.57	15.91	
45-50歳(n=170)	2.94	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.53	18.82	
全体(n=844)	2.01	0.47	0.47	0.71	0.24	0.36	2.13	13.51	

注：下線部は5％水準の有意確率(p.<0.05)。

イ 居住地区

有意な差がみられた事業では、「麻布地区」の充実希望が高い事業が多い

図表 3-67 は、居住地区と一層充実してほしい子育て支援関連サービスや助成制度のクロス集計の結果であり、「子育てコーディネーター事業」「出産・子育て応援メール配信」「港区子育て応援商品券の配付」で有意な差が示されている。

「子育てコーディネーター事業」をみると、「麻布地区」が12.73％と最大の値を示し、次いで「赤坂地区」は11.50％、「高輪地区」は9.57％、「芝浦港南地区」は8.65％、「芝地区」は2.35％となっている。

「出産・子育て応援メール配信」をみると、「麻布地区」が9.70％と最大の値を示し、次いで「高輪地区」は7.45％、「赤坂地区」は6.19％、「芝浦港南地区」は4.33％、「芝地区」は2.35％となっている。

「港区子育て応援商品券の配付」をみると、「芝浦港南地区」が54.33％と最大の値を示し、次いで「麻布地区」は50.30％、「高輪地区」は48.40％、「赤坂地区」は47.79％、「芝地区」は37.06％となっている。

図表 3-67 居住地区別一層充実してほしい子育て支援関連サービスや助成制度（％）

	乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業（スポット利用）	派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）	乳幼児等ショートステイ事業	トワイライトステイ事業	子育てひろば事業（乳幼児とその保護者が対象）	保育園であそぼう	子育てコーディネーター事業	出産・子育て応援メール配信
芝地区(n=170)	50.00	24.71	22.35	11.76	12.35	9.41	2.35	2.35
麻布地区(n=165)	51.52	31.52	24.24	13.94	19.39	10.30	12.73	9.70
赤坂地区(n=113)	46.02	30.09	15.04	9.73	12.39	9.73	11.50	6.19
高輪地区(n=188)	48.40	25.53	18.09	12.77	17.55	9.57	9.57	7.45
芝浦港南地区(n=208)	50.96	28.37	19.71	9.62	16.35	6.73	8.65	4.33
全体(n=844)	49.64	27.84	20.14	11.61	15.88	9.00	8.77	5.92
	みなと母子手帳アプリ	産後宿泊型ショートステイ	産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業	産前産後家事・育児支援事業	児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）	出産費用助成	コミュニティバス乗車券の発行	港区子育て応援商品券の配付
芝地区(n=170)	11.18	28.24	27.65	33.53	18.82	44.71	19.41	37.06
麻布地区(n=165)	14.55	27.27	29.70	40.61	20.61	52.12	26.06	50.30
赤坂地区(n=113)	14.16	23.01	23.89	31.86	27.43	58.41	31.86	47.79
高輪地区(n=188)	10.11	23.94	21.28	28.72	28.19	48.40	22.34	48.40
芝浦港南地区(n=208)	13.94	26.92	25.48	32.21	17.79	48.56	27.40	54.33
全体(n=844)	12.68	26.07	25.59	33.29	22.16	49.76	25.00	47.87
	教育・子育てに係る経費への助成	相談先・子育てのネットワークの充実	所得制限のない助成	病児・病後児保育の充実	公共交通機関の利用に係る助成	不妊治療への助成	その他	特になし
芝地区(n=170)	1.18	0.59	0.59	0.59	0.00	0.59	2.35	16.47
麻布地区(n=165)	1.21	0.00	0.61	0.00	0.00	0.61	2.42	16.97
赤坂地区(n=113)	3.54	0.00	0.88	0.88	0.00	0.00	1.77	10.62
高輪地区(n=188)	3.72	0.00	0.00	1.60	1.06	0.53	1.06	11.70
芝浦港南地区(n=208)	0.96	1.44	0.48	0.48	0.00	0.00	2.88	11.54
全体(n=844)	2.01	0.47	0.47	0.71	0.24	0.36	2.13	13.51

注：下線部は5％水準の有意確率(p.<0.05)。

ウ 世帯類型

- ・「児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）」「コミュニティバス乗車券の発行」「港区子育て応援商品券の配付」「教育・子育てに係る経費への助成」は子どもと同居している人の充実希望が高い
- ・「既婚・末子6歳未満」をみると、「乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業（スポット利用）」と「港区子育て応援商品券の配付」の充実希望が高い

図表 3-68 は、世帯類型と一層充実してほしい子育て支援関連サービスや助成制度のクロス集計の結果であり、「乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業（スポット利用）」「派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）」「乳幼児等ショートステイ事業」「トワイライトステイ事業」「子育てコーディネーター事業」「出産・子育て応援メール配信」「みなと母子手帳アプリ」「産後宿泊型ショートステイ」「産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業」「産前産後家事・育児支援事業」「児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）」「出産費用助成」「コミュニティバス乗車券の発行」「港区子育て応援商品券の配付」「教育・子育てに係る経費への助成」「特になし」で有意な差が示されている。

「乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業（スポット利用）」をみると、「既婚・子なし」が59.15％と最大の値を示し、次いで「既婚・末子6歳未満」は57.61％、「未婚・子あり」は46.88％、「未婚・子なし」は45.17％、「既婚・末子6-17歳」は37.04％となっている。

「派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）」をみると、

「未婚・子あり」が43.75%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は33.80%、「既婚・末子6歳未満」は29.22%、「未婚・子なし」は25.48%、「既婚・末子6-17歳」は21.60%となっている。

「乳幼児等ショートステイ事業」をみると、「既婚・子なし」が31.69%と最大の値を示し、次いで「未婚・子なし」は26.25%、「未婚・子あり」は15.63%、「未婚・末子6-17歳」は12.96%、「未婚・末子6歳未満」は11.93%となっている。

「トワイライトステイ事業」をみると、「未婚・子あり」が21.88%と最大の値を示し、次いで「未婚・子なし」は16.60%、「既婚・子なし」は9.86%、「既婚・末子6歳未満」は9.05%、「既婚・末子6-17歳」は6.79%となっている。

「子育てコーディネーター事業」をみると、「未婚・子あり」が15.63%と最大の値を示し、次いで「未婚・子なし」は11.97%、「既婚・子なし」は10.56%、「既婚・末子6-17歳」は6.17%、「既婚・末子6歳未満」は5.35%となっている。

「出産・子育て応援メール配信」をみると、「未婚・子なし」が10.42%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は7.04%、「未婚・子あり」は6.25%、「既婚・末子6-17歳」は4.32%、「既婚・末子6歳未満」は1.65%となっている。

「みなと母子手帳アプリ」をみると、「未婚・子なし」が16.99%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は14.79%、「既婚・末子6歳未満」は12.35%、「未婚・子あり」は6.25%、「既婚・末子6-17歳」は6.17%となっている。

「産後宿泊型ショートステイ」をみると、「未婚・子なし」が32.43%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は32.39%、「未婚・子あり」は28.13%、「既婚・末子6歳未満」は21.81%、「既婚・末子6-17歳」は16.05%となっている。

「産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業」をみると、「未婚・子なし」が31.27%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は30.28%、「未婚・子あり」は28.13%、「既婚・末子6-17歳」は20.99%、「既婚・末子6歳未満」は19.34%となっている。

「産前産後家事・育児支援事業」をみると、「既婚・子なし」が38.73%と最大の値を示し、次いで「未婚・子なし」は37.84%、「既婚・末子6歳未満」は32.10%、「未婚・子あり」は31.25%、「既婚・末子6-17歳」は22.84%となっている。

「児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）」をみると、「未婚・子あり」が34.38%と最大の値を示し、次いで「既婚・末子6-17歳」は27.16%、「既婚・末子6歳未満」は23.05%、「未婚・子なし」は22.39%、「既婚・子なし」は10.56%となっている。

「出産費用助成」をみると、「既婚・子なし」が56.34%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は53.13%、「未婚・子なし」は52.90%、「既婚・末子6歳未満」は49.79%、「既婚・末子6-17歳」は38.27%となっている。

「コミュニティバス乗車券の発行」をみると、「既婚・末子6歳未満」が32.92%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は31.25%、「既婚・末子6-17歳」は25.31%、「未婚・子なし」は22.39%、「既婚・子なし」は15.49%となっている。

「港区子育て応援商品券の配付」をみると、「既婚・末子6歳未満」が66.26%と最大の値を示し、次いで「未婚・子あり」は62.50%、「既婚・末子6-17歳」は58.02%、「既婚・子なし」は35.21%、「未婚・子なし」は30.50%となっている。

「教育・子育てに係る経費への助成」をみると、「既婚・末子6歳未満」が4.12%と最大の値を示し、次いで「既婚・末子6-17歳」は3.09%、「既婚・子なし」は0.70%、「未婚・子なし」は0.39%、「未婚・子あり」は0%となっている。

「特にない」をみると、「未婚・子なし」が23.55%と最大の値を示し、次いで「既婚・子なし」は16.90%、「未婚・子あり」は12.50%、「既婚・未子6-17歳」は12.35%、「既婚・未子6歳未満」は1.65%となっている。

図表 3-68 世帯類型別一層充実してほしい子育て支援関連サービスや助成制度 (%)

	乳幼児一時預かり事業・一時保育・みなと保育サポート事業（スポット利用）	派遣型一時保育事業・育児サポート子むすび（ファミリー・サポート・センター事業）	乳幼児等ショートステイ事業	トワイライトステイ事業	子育てひろば事業（乳幼児とその保護者が対象）	保育園であそぼう	子育てコーディネーター事業	出産・子育て応援メール配信
未婚・子なし(n=259)	45.17	25.48	26.25	16.60	13.13	11.58	11.97	10.42
未婚・子あり(n=32)	46.88	43.75	15.63	21.88	15.63	6.25	15.63	6.25
既婚・子なし(n=142)	59.15	33.80	31.69	9.86	12.68	11.27	10.56	7.04
既婚・未子6歳未満(n=243)	57.61	29.22	11.93	9.05	17.28	6.17	5.35	1.65
既婚・未子6-17歳(n=162)	37.04	21.60	12.96	6.79	19.75	6.79	6.17	4.32
全体(n=838)	49.64	27.92	20.05	11.58	15.63	8.83	8.83	5.97

	みなと母子手帳アプリ	産後宿泊型ショートステイ	産後母子ケアデイサービス・乳房ケア事業	産前産後家事・育児支援事業	児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）	出産費用助成	コミュニティバス乗車券の発行	港区子育て応援商品券の配付
未婚・子なし(n=259)	16.99	32.43	31.27	37.84	22.39	52.90	22.39	30.50
未婚・子あり(n=32)	6.25	28.13	28.13	31.25	34.38	53.13	31.25	62.50
既婚・子なし(n=142)	14.79	32.39	30.28	38.73	10.56	56.34	15.49	35.21
既婚・未子6歳未満(n=243)	12.35	21.81	19.34	32.10	23.05	49.79	32.92	66.26
既婚・未子6-17歳(n=162)	6.17	16.05	20.99	22.84	27.16	38.27	25.31	58.02
全体(n=838)	12.77	26.01	25.54	33.17	21.96	49.76	25.18	48.21

	教育・子育てに係る経費への助成	相談先・子育てのネットワークの充実	所得制限のない助成	病児・病後児保育の充実	公共交通機関の利用に係る助成	不妊治療への助成	その他	特にない
未婚・子なし(n=259)	0.39	0.39	0.00	0.00	0.00	0.39	2.32	23.55
未婚・子あり(n=32)	0.00	0.00	3.13	0.00	0.00	0.00	0.00	12.50
既婚・子なし(n=142)	0.70	0.70	0.70	0.70	0.00	1.41	2.11	16.90
既婚・未子6歳未満(n=243)	4.12	0.82	0.41	1.65	0.82	0.00	1.65	1.65
既婚・未子6-17歳(n=162)	3.09	0.00	0.62	0.62	0.00	0.00	3.09	12.35
全体(n=838)	2.03	0.48	0.48	0.72	0.24	0.36	2.15	13.48

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

エ 世帯所得

「児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）」「コミュニティバス乗車券の発行」「港区子育て応援商品券の配付」で有意な差がみられ、いずれもおおむね高所得層において充実希望が低い

図表 3-69 は、世帯所得と一層充実してほしい子育て支援関連サービスや助成制度のクロス集計の結果であり、「児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）」「コミュニティバス乗車券の発行」「港区子育て応援商品券の配付」で有意な差が示されている。

「児童館、飯倉学童クラブ、子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザ、子どもふれあいルームの一般来館（小学生以上が対象）」をみると、「第一・五分位」が28.06%と最大の値を示し、次いで「第三・五分位」は26.26%、「第二・五分位」は21.43%、「第五・五分位」は16.67%、「第四・五分位」は14.58%となっている。

「コミュニティバス乗車券の発行」をみると、「第一・五分位」が33.81%と最大の値を示し、次いで「第三・五分位」は29.61%、「第二・五分位」は29.29%、「第五・五分位」は16.67%、「第四・五分位」は15.28%となっている。

「港区子育て応援商品券の配付」をみると、「第三・五分位」が55.87%と最大の値を示し、次い